AQUOS サラウンド

1ビットシアターラックシステム

形名 AN-45T1（エイ エヌ-45 ティー1）

取扱説明書

お買いあげいただき、まことにありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
ご使用の前に、「**安全に正しくお使いいただくために**」を必ずお読みください。
この取扱説明書は、保証書とともに、いつでも見ることができるところに必ず保存してください。

もくじ

はじめに

初めて使うときは必ずお読みください。

準備・接続

操作を始める前に必要な内容です。

音を楽しむ

基本的な再生操作と音の調整です。

テレビ、DVDの操作

テレビやDVD プレーヤーをこの製品のリモコンで使うときの説明です。

参考

特に、「使用上のご注意」・「故障かな？」の説明は、しっかりとお読みください。

カタログおよび包装箱などに表示されている形名の最後のアルファベットは製品の色を示す記号です。
色は異なっても、操作方法や仕様は同じです。

サラウンドを楽しむまでの流れ

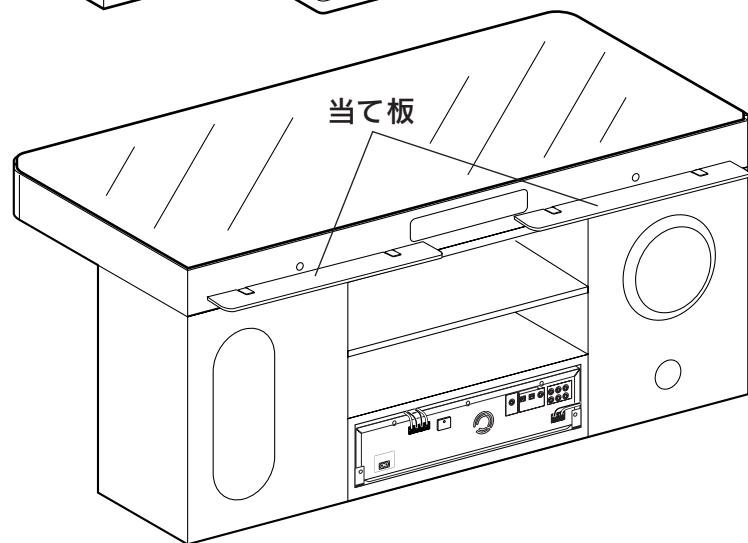
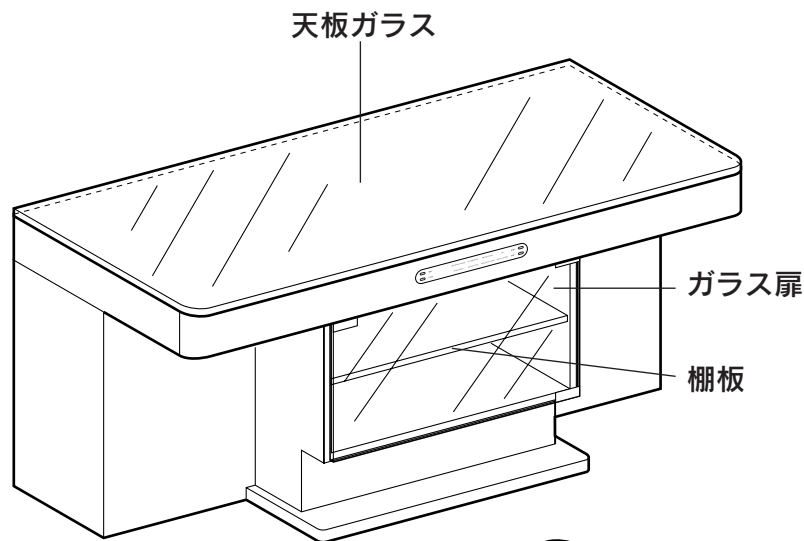
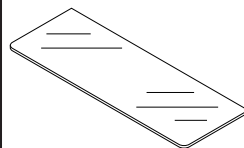
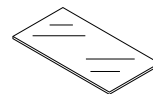
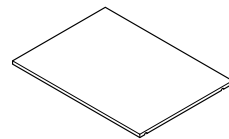
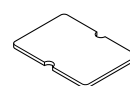
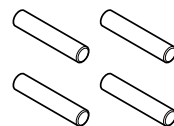
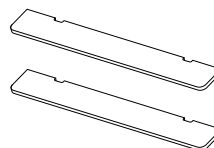
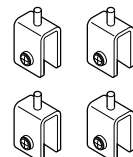
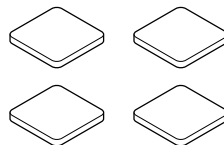
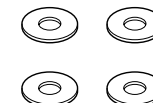
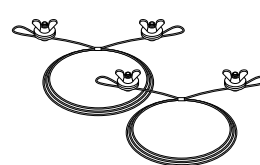
フロントスピーカーとサブウーハーを内蔵しているため、スピーカーとの配線や接続作業は不要です。テレビやDVDプレーヤーなどの機器と接続するだけで、立体的な広がりのあるサラウンドを楽しむことができます。

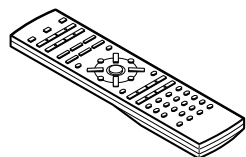
1 棚板やガラス扉などを取りつける （☞ P.18 ~ 21）

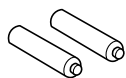
2 テレビやDVDプレーヤーなどを接続する （☞ P.22~25）

3 音を聞く （☞ P.27 ~ 28）

4 サラウンドやいろいろな音質を楽しむ （☞ P.29 ~ 34）

付属品について

付属品がすべてそろっているか、お確かめください。

天板ガラスやガラス扉、棚板、当て板は、取りつけが必要です。
(**取りつけかた：☞ P.18～20**)

リモコン送信機×１

（使いかた ☞ P.16～17）

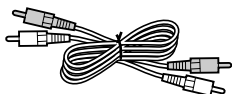
単4乾電池×２
（リモコン送信機用）

（使いかた ☞ P.26）

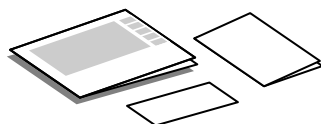
電源コード×１
（約1.5m）

（使いかた ☞ P.25）

光デジタル音声ケーブル×１
（約1.5m）

（使いかた ☞ P.22～24）

音声コード×１
（約1.5m）

（使いかた ☞ P.22～24）

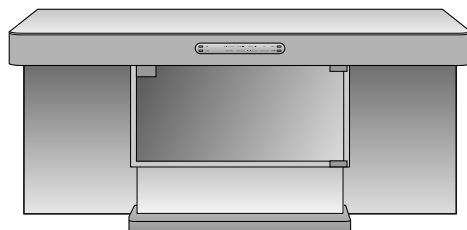
取扱説明書（本書）**×１**
操作早見表×１
保証書×１

付属の電源コードは、本機専用です。
他の機器に使用しないでください。
他の機器に使用すると、火災・感電の原因となることがあります。

ドルビーラボラトリーズからの実施権に基づき製造されています。
Dolby、ドルビー、Pro Logic、ダブルD記号、AACロゴ、Audistry およびサウンド・シェル・ロゴは、ドルビーラボラトリーズの商標です。

“DTS”、“DTS Digital Surround”は、Digital Theater Systems. Inc. の登録商標です。

AACは正式名称をMPEG-2 Advanced Audio Codingといい、MPEG-2仕様の一部として標準化された音声圧縮技術です。
以下が米国パテントナンバーです。

08/937,950	5 297 236	5,481,614	5,490,170
5848391	4,914,701	5,592,584	5,264,846
5,291,557	5,235,671	5,781,888	5,268,685
5,451,954	07/640,550	08/039,478	5,375,189
5 400 433	5,579,430	08/211,547	5,581,654
5,222,189	08/678,666	5,703,999	05-183,988
5,357,594	98/03037	08/557,046	5,548,574
5 752 225	97/02875	08/894,844	08/506,729
5,394,473	97/02874	5,299,238	08/576,495
5,583,962	98/03036	5,299,239	5,717,821
5,274,740	5,227,788	5,299,240	08/392,756
5,633,981	5,285,498	5,197,087	

おもな特長

設置も接続も簡単な テレビラックスタイルのホームシアターシステム

ホームシアターシステムをテレビラックに内蔵しているため、テレビやDVDプレーヤーなどと接続するだけで高音質なサウンドを楽しめます。

いろいろなサウンドを楽しめる 各種デコーダーを搭載

サウンドを高音質で楽しめる、ドルビーデジタル方式やDTS 方式、BS デジタル／地上デジタル放送のAAC方式に対応した各種デコーダーを搭載しています。さらに、地上アナログ放送やビデオテープなどの2chステレオ音声を広がりのあるサウンドに変換するドルビープロロジックII のデコーダーも搭載しています。

高解像度サウンドを実現する １ビットデジタルアンプを採用

フロントスピーカー用アンプに１ビットデジタルアンプを搭載していますので、1秒間に約560万回という高速サンプリングにより、音の分解能力を向上しています。音の伝送／増幅を１ビットデジタル信号で行い、音の立ち上がりや滑らかさを高品位に再現するほか、アナログ信号処理に比べ音質劣化の少ないクリアーな音質を実現します。

高音質＆高出力で、迫力あるサウンドを実現

総合出力１４０Ｗ。フロントスピーカー用アンプに１ビットデジタルアンプを搭載しているため、映画や音楽を歯切れのよい臨場感あふれた迫力あるサウンドで楽しめます。

テレビとDVDプレーヤーが操作可能な 多機能リモコン

本体以外に当社液晶テレビAQUOSや主要メーカーのテレビとDVDプレーヤーの基本操作ができます。

安全に正しくお使いいただくために

この取扱説明書には、安全にお使いいただくためにいろいろな表示をしています。その表示を無視して誤った取り扱いをすることによって生じる内容を、次のように区分しています。
内容をよく理解してから本文をお読みになり、記載事項をお守りください。

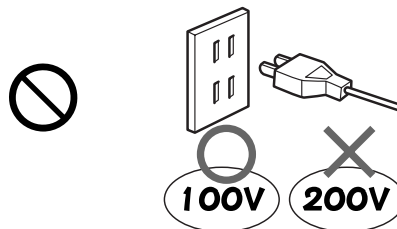
	人が死亡または重傷を負うおそれがある内容を示しています。
	人がけがをしたり財産に損害を受けるおそれがある内容を示しています。

図記号の意味

	この記号は**気をつける必要がある**ことを表しています。
	この記号は**してはいけない**ことを表しています。
	この記号は**しなければならない**ことを表しています。

⚠ 警告

電源について

AC100V 以外の電源電圧では使用しない

火災・感電の原因となります。

外国では使用しない

この製品を使用できるのは日本国内のみで、外国では電源電圧が異なりますので使用しないでください。
(This unit cannot be used in foreign countries as designed for Japan only.)

雷について

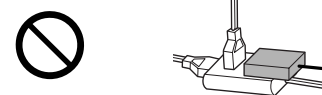
雷が鳴りだしたら…
安全のため、製品にさわらないでください

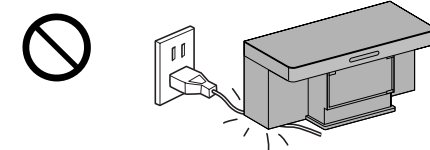
感電の原因となります。

電源コードについて

付属以外の電源コードは使用しない

火災・感電の原因となります。

タコ足配線はしない

発熱により、火災の原因となります。

コードを傷つけたり、無理に曲げたり、ねじったり、引っぱったり、加熱したり、加工したり、重い物を乗せたり、この製品の下敷きにならないようにしてください

電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

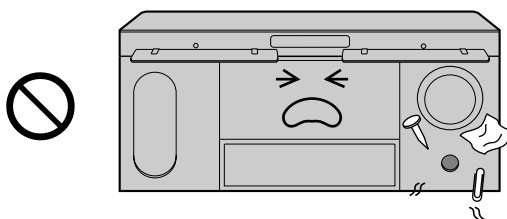
電源コードが傷ついたときは…
販売店に交換をご依頼ください

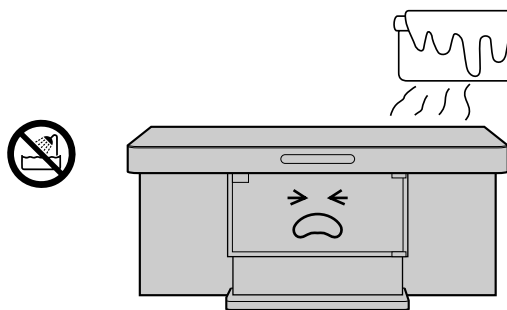
そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

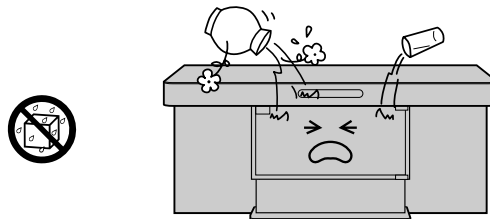
安全に正しくお使いいただくために（続き）

⚠警告

内部に物や水などを入れない

開口部（バスレフダクトなど）から金属類や燃えやすい物などを入れない

火災・感電・けがの原因となります。
特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

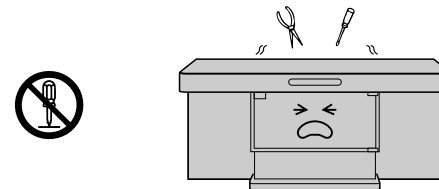
風呂場や雨にあたる所、湿気の多い所では使用しない

火災・感電の原因となります。

近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器または小さな金属物を置かない

こぼれたり、中に入ると、火災・感電の原因となります。

内部に水や異物などが入ったときは…
電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

キャビネットについて

キャビネットを開けたり、改造しない

火災・感電・けがの原因となります。
内部の点検・調整・修理は、販売店にご依頼ください。

異常が起きたら

万一、異常な音がしたり、煙が出たり、変な臭いがするなどの異常な状態に気がついたときは…
電源を切り、電源コードをコンセントから抜いて販売店にご連絡ください

異常な状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。

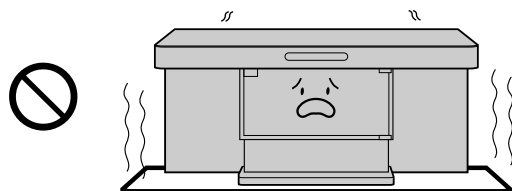
内部の温度上昇について

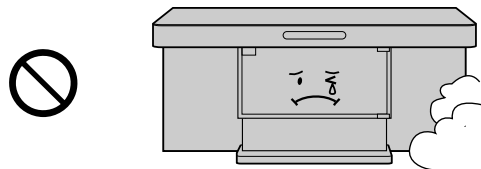
この製品を設置する場合は、壁との間隔を離して設置してください

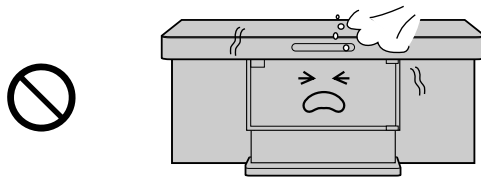
放熱をよくするために、背面に10cm以上のすきまをあけてください。
内部の温度上昇により、火災の原因となります。

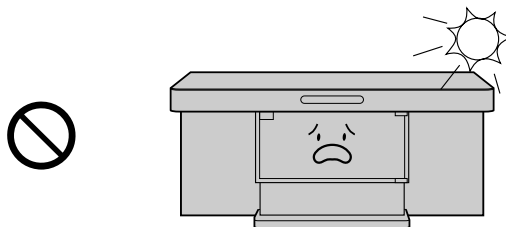
⚠注意

置き場所について

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かない

落ちたり、倒れたりして、けがや故障の原因となることがあります。

油煙や湯気が当たるような場所に置かない

火災・事故の原因となることがあります。

冷気が直接吹きつける所や、極端に寒い場所に置かない

露がつき、漏電・焼損の原因となることがあります。

直射日光が長時間あたる場所や、暖房器具の近く、火気の近くには置かない

火災・事故の原因となることがあります。

ご使用について

風通しの悪い状態で使用しない
また、布や布団でおおったり、つつんだりしない

熱がこもり、キャビネットが変形し、火災の原因となることがあります。

製品の上に乗らない

踏み台や腰かけのかわりに使わないでください。倒れたりこわれたりして、けがの原因となることがあります。
特に幼いお子様のいるご家庭では、ご注意ください。

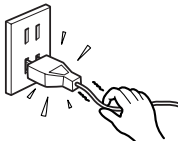
音量調整について

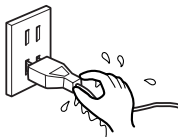
大音量で再生中に万一異音が出た場合は、音量レベルを下げてください

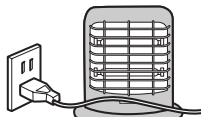
そのまま使用すると、スピーカーが発熱し、火災の原因となることがあります。
また、電源を切る前には、アンプの音量を必ず最小にしてください。
電源を入れたとき、突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。

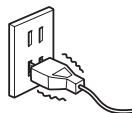
注意

電源コードの取り扱いについて

プラグを抜くときはコードを引っぱらない

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。

濡れた手でプラグを抜き差ししない

感電の原因となることがあります。

電源コードを熱器具に近づけない

コードの被覆がとけて、火災・感電の原因となることがあります。

コンセントへの差し込みがぐらついていたり、プラグやコードが熱いときは使用を中止する

火災・感電の原因となることがあります。

お手入れのときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください

感電やけがの原因となることがあります。

長期間ご使用にならないときは

安全のため必ず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください

移動するときは

本機は非常に重いので、持ち運びは必ず２人以上で行ってください

腰を痛めたり、けがや故障の原因となることがあります。

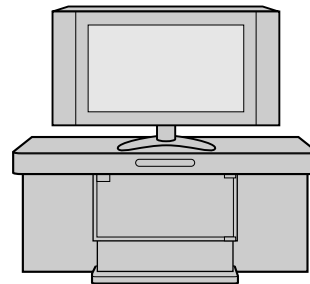
電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線など外部の接続コード、転倒防止具をはずしたことを確認のうえ、行ってください

コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。
また、落下や転倒など思わぬ事故の原因となることがあります。

据えつけたあとは転倒の防止をする

不意の地震や衝撃等により、この製品の上に載せたテレビなどが倒れてけがをする恐れがあります。転倒防止策を実施ください

機器の接続について

他の機器を接続するときは、指定のコードをお使いください

接続するときは、必ず電源を切り、他の機器の取扱説明書をよくごらんのうえ、説明に従って接続してください。
また、付属のコードや指定以外のコードを使用すると、故障の原因となります。

⚠注意

乾電池の取り扱いについて

乾電池は誤った使いかたをしますと、感電・破裂・発火の原因となることがあります。また、液もれをして機器を腐食させたり、手や衣類などを汚す原因にもなります。次の点に特に注意してください。

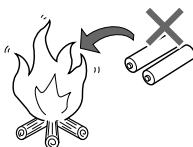
乾電池は幼児の手の届く所に置かない

乾電池を飲み込むと、窒息の原因や胃などに止まると大変危険です。飲み込んだ恐れがあるときは、ただちに医師と相談してください。

乾電池の液が漏れたときは素手で触らない

- 乾電池の液が目に入ったときは、失明の恐れがありますので、こすらずにすぐにきれいな水で洗ったあと、ただちに医師の治療を受けてください。
- 皮膚や衣類に付着した場合は皮膚に傷害を起こす恐れがありますので、すぐにきれいな水で洗い流してください。皮膚の炎症など傷害の症状があるときは、医師に相談してください。

乾電池は火や水の中に投入したり、加熱・分解・改造・ショートしない また、乾電池は充電しない

乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池はプラス⊕とマイナス⊖の向きに注意し、機器の表示どおり正しく入れる

間違えると乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

指定以外の乾電池を使わない 新しい乾電池と古い乾電池または種類の違う乾電池を混ぜて使わない

乾電池の破裂・液もれにより、火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

乾電池を使いきったときや、長時間使わないときは、乾電池を取り出す

乾電池を入れたままにしておくと、過放電により液がもれ、故障・火災・けがや周囲を汚損する原因となることがあります。

その他

- 水に濡らさない
- ハンダ付けしない
- 金属小物（かぎ・装飾品・ネックレス・コイン等）といっしょにポケットやかばんなどに入れない

- この製品は厳重な品質管理と検査を経て出荷しておりますが、万一故障または不具合がありましたら、お買いあげの販売店またはもよりのシャープお客様ご相談窓口までご連絡ください。（☞ P.43）
- お客様または第三者がこの製品の使用誤り、使用中に生じた故障、その他の不具合またはこの製品の使用によって受けられた損害については、法令上賠償責任が認められる場合を除き、当社は一切その責任を負いません。

各部のなまえとはたらき

AN-45T1

本体（正面）

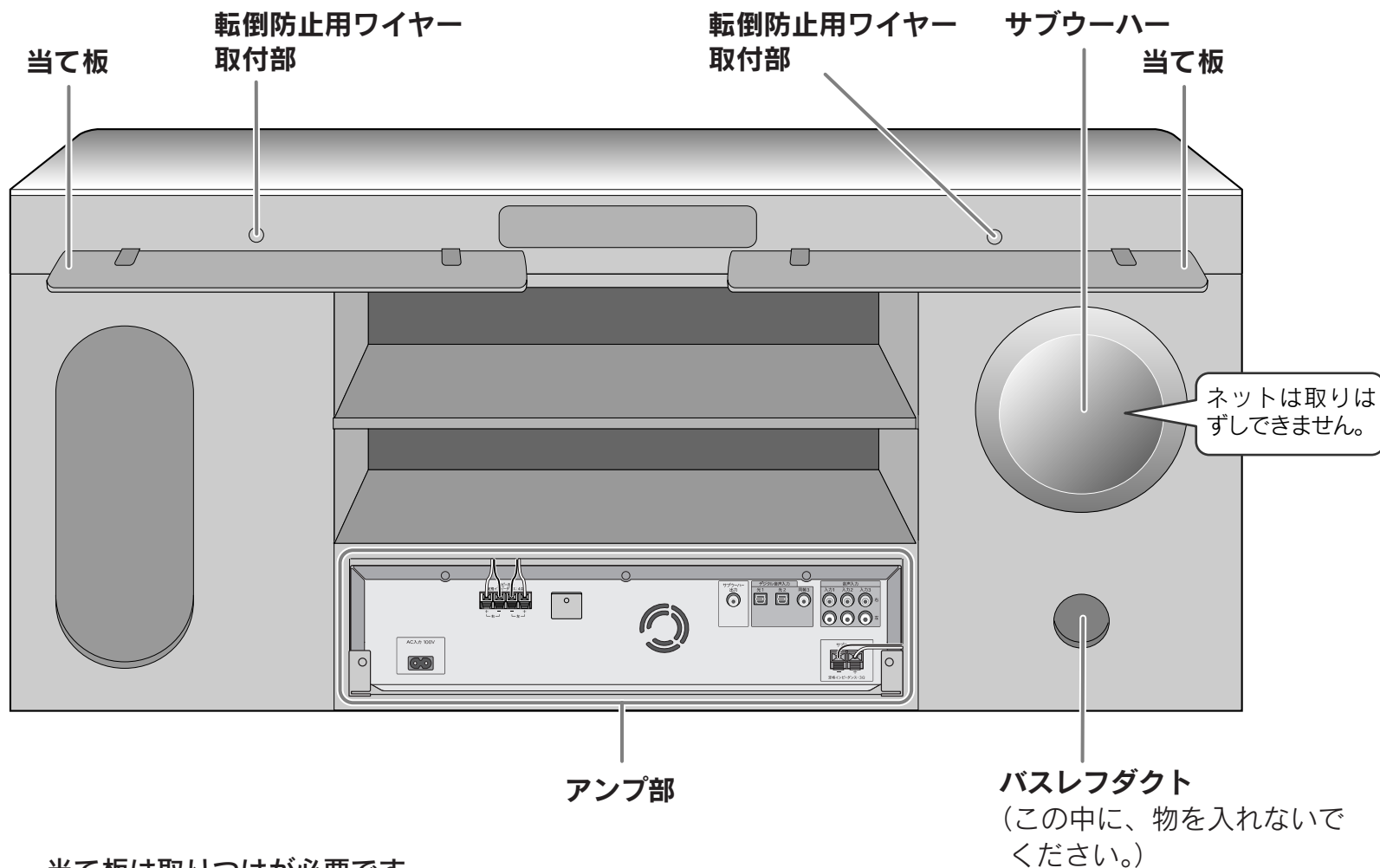
天板ガラスやガラス扉、棚板は取りつけが必要です。
（取りつけかた：☞ P.18～19）

本体（操作/表示部）

電源ボタン
電源を入／切（待機）します。（☞ P.27）
電源
電源表示ランプ
• 電源「切」(待機)のときは赤色が点灯します。
• 電源「入」のときは緑色が点灯します。（☞ P.27）
電源
表示部
電源を入れたときは、表示が消灯モードになっています。
入力切換や音量調整、サウンドモードの切換、サブウーハーのレベル調整、消音モードなどの操作を行うと、現在の設定を 3 秒間表示します。（☞ P.27 ～ 28、30 ～ 31）
d 1
音量(＋/－)ボタン
音量を調整します。（☞ P.27）
音量＋
音量－
電源
入力切換
VIRTUAL SPEAKER
DTS / DIGITAL
PRO LOGIC Ⅱ
AAC
SOUND SPACE
NATURAL BASS
INTELLIGENT VOLUME
MONO TO STEREO
音量＋
音量－
表示ランプ部
各サウンドモードや動作に合わせて点灯します。（☞ P.30 ～ 34）
ドルビーバーチャルスピーカー(緑)
デジタルシアターシステム信号(赤)/ドルビーデジタル(緑)
ドルビープロロジックII(緑)
AAC信号(緑)
VIRTUAL SPEAKER
DTS / DIGITAL
PRO LOGIC Ⅱ
AAC
SOUND SPACE
NATURAL BASS
INTELLIGENT VOLUME
MONO TO STEREO
サウンドスペース(緑)
ナチュラルバス(緑)
インテリジェントボリューム(緑)
モノーステレオ(緑)
入力切換ボタン
音声入力を切り換えます。（☞P.27）
入力切換
リモコン受信部
リモコンからの信号を受信します。（☞ P.26）
はじめに
各部のなまえとはたらき

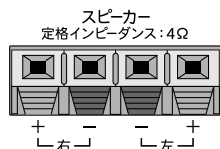
各部のなまえとはたらき（続き）

AN-45T1

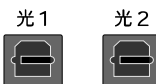
本体（背面）

当て板は取りつけが必要です。
（取りつけかた：☞ P.20）

背面（アンプ部）

フロントスピーカー出力端子

フロントスピーカーを接続する端子です。
スピーカーコードは、はじめから接続されています。

デジタル音声入力端子

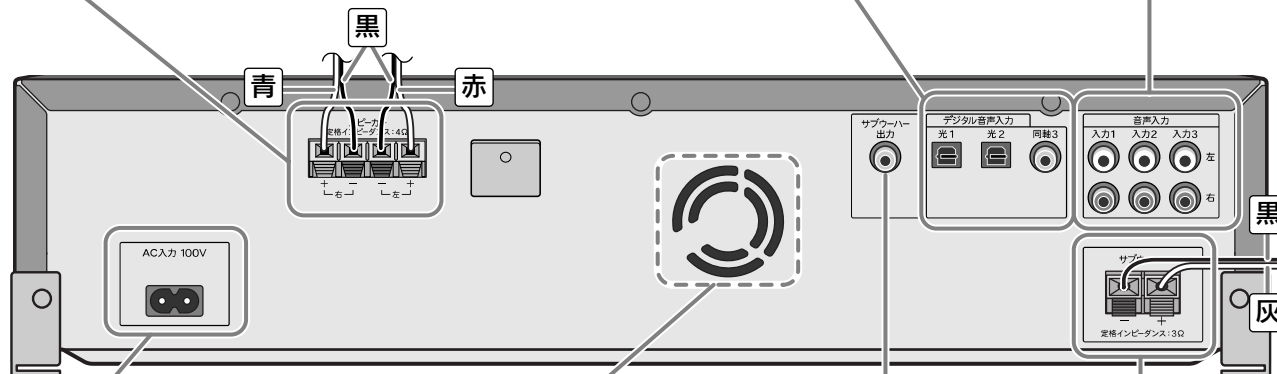
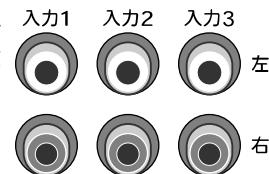
光１入力端子、光２入力端子

光デジタル出力端子のあるテレビやDVDプレーヤーなどの機器と接続します。（☞P.22～24）

同軸３入力端子

同軸デジタル出力端子のあるテレビ、DVDプレーヤーなどの機器と接続します。（☞P.24）

音声入力端子（アナログ）

LINE1入力端子、LINE2入力端子、LINE3入力端子

音声出力端子のあるテレビやDVDプレーヤー、ビデオデッキなどの機器と接続します。
（☞P.22～24）

AC電源入力端子

電源コードを接続します。
（☞P.25）

空冷ファン

放熱をよくするために空冷ファンを内蔵しています。
電源を入れると自動的に回転するようになっています。

ファンの部分を物でふさがないように注意してください。

サブウーハー出力端子

市販のアンプ内蔵サブウーハーを接続します。
（☞P.25）

サブウーハー出力端子

サブウーハーを接続する端子です。スピーカーコードは、はじめから接続されています。

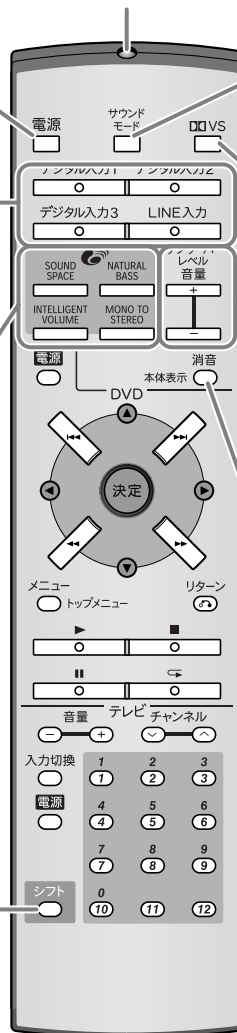
各部のなまえとはたらき（続き）

AN-45T1

リモコン

リモコン送信部

電源ボタン

電源

電源を入／切(待機)します。
(☞ P.26 ～ 27)

入力切換ボタン

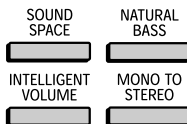
デジタル入力1ボタン、デジタル入力2ボタン、デジタル入力3ボタン、LINE入力切換ボタン(1/2/3)

デジタル入力1　デジタル入力2
デジタル入力3　LINE入力

入力を切り換えるときに押します。
(☞ P.27)

オーディストリーサウンドモード切換ボタン

サウンドスペースボタン、ナチュラルバスボタン、インテリジェントボリュームボタン、モノーステレオボタン

SOUND SPACE　NATURAL BASS
INTELLIGENT VOLUME　MONO TO STEREO

４つのサウンドモードの中から、お好みのモードを選ぶときに使います。
(☞ P.33)

シフトボタン

シフト

複数の機能を共有しているボタンを選択するときに押します。(☞P.28、36)

プリセットサウンドモード切換ボタン

サウンドモード

プリセットされている６つのサウンドモードの中から、お好みのモードを選ぶときに使います。(☞P.31)

ドルビーバーチャルスピーカーボタン

VS

ドルビーバーチャルスピーカーを入／切するときに押します。
(☞ P.32)

音量／サブウーハーレベル調整ボタン

音量を調整するときに押します。また、サブウーハーのレベルのみ調整することもできます。
(☞P.27 ～ 28)

消音／本体表示切換ボタン

消音
本体表示

一時的に音を消したり、表示部を点灯モードや消灯モードに切り換えるときに押します。
(☞P.28)

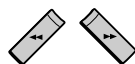
DVDプレーヤー操作ボタン(☞P.35～36)

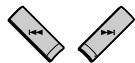
電源ボタン

DVDプレーヤーの電源を入/切します。

カーソルボタン

メニューや項目を選ぶときに押します。

早戻し/早送りボタン

お好みの位置まで戻したり、送ったりする(サーチ)ときに押します。

頭出し前/頭出し次/コマ送り/コマ戻しボタン

チャプターの頭出しをする(スキップ)ときやコマ送りをする(コマ送り再生)ときに押します。

決定ボタン

メニューや項目を決定するときに押します。

メニュー/DVDトップメニューボタン

メニュー トップメニュー

メニューを表示させるときに押します。

リターンボタン

操作を戻すときに押します。

再生ボタン

再生するときに押します。

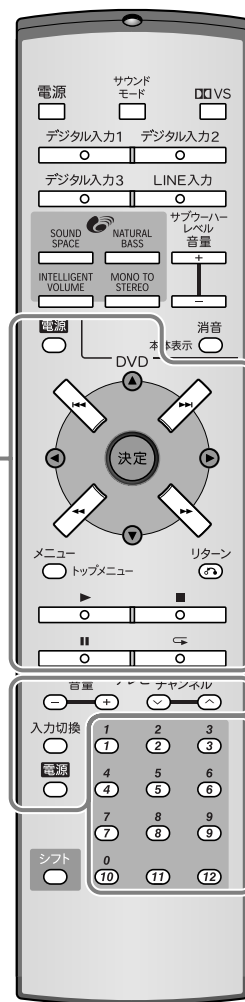
停止ボタン

停止するときに押します。

一時停止ボタン

一時停止するときに押します。

リピートボタン

リピート再生するときに押します。

テレビ操作ボタン(☞P.35)

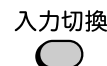
音量ボタン

音量を調整するときに押します。

チャンネルボタン

チャンネルを切り換えるときに押します。

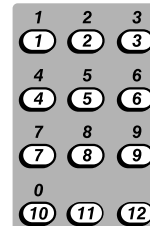
入力切換ボタン

入力切換

入力を切り換えるときに押します。

電源ボタン

電源

テレビの電源を入/切します。

数字入力/ダイレクトボタン

数字の入力やチャンネルのダイレクト選択をするときに押します。
(☞P.35)

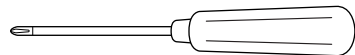
棚板やガラス扉、天板ガラス、当て板を取りつける

AN-45T1

取りつける前に

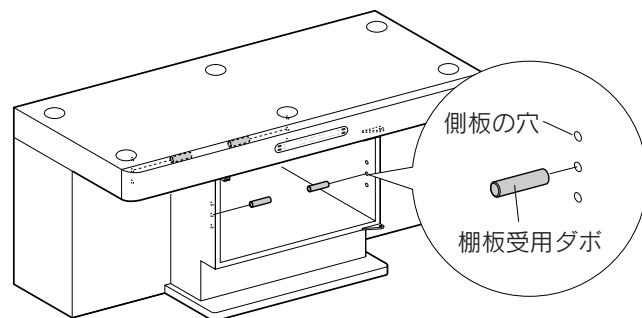
- 本機は非常に重いので、持ち運びなどの作業は必ず2人以上で行ってください。腰を痛めたり、けがや故障の原因となることがあります。
- 安全のために、手袋を着用してください。
- 使用する部品は、付属品について（ P.4）をごらんください。

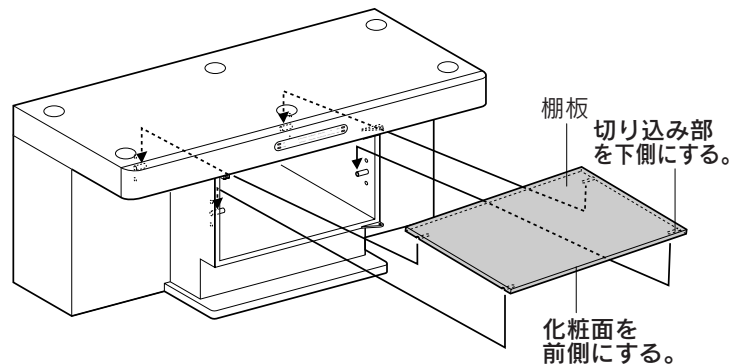
用意する工具

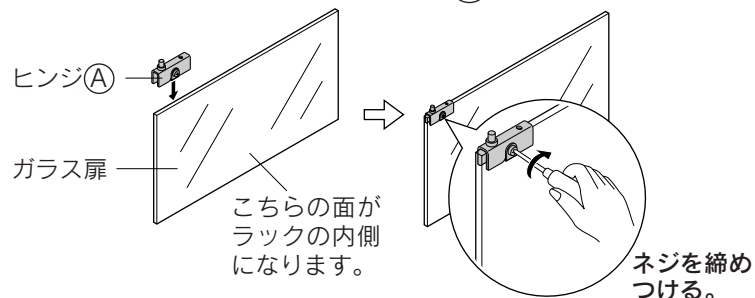
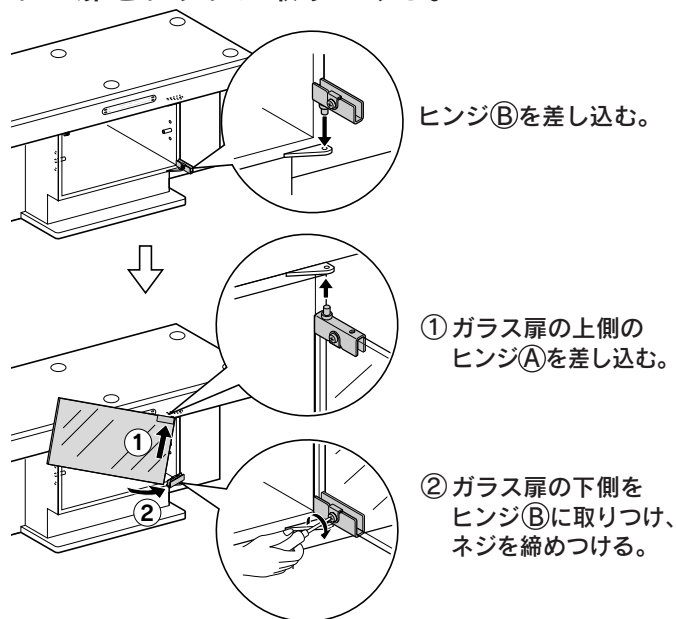
プラスドライバー

ご注意

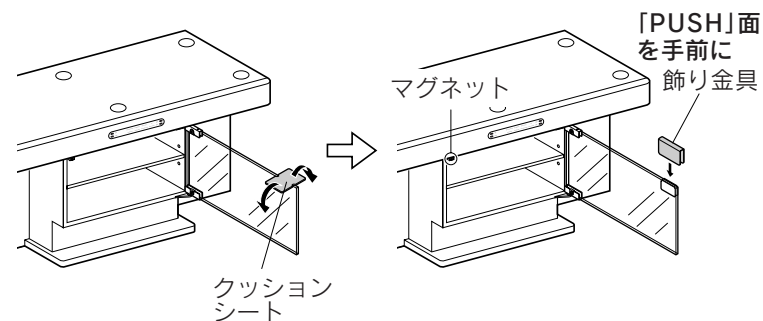
- 移動させる場合は、ネット部分に手をかけないでください。故障やけがの原因となることがあります。
- 本機をぐらついた台の上や不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- 移動させる場合は、電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続線など外部の接続コード、転倒防止具をはずしたことを確認のうえ、行ってください。
  落下や転倒など思わぬ事故の原因となることがあります。
- 本機の上にテレビやその他の機器を載せたまま移動しないでください。落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。
- ガラスは強化ガラスを使用していますが、とがった物を落としたりぶつけたりすると割れることがありますのでご注意ください。
- ガラス扉ヒンジのネジが緩んでいないか時々点検し、緩み始めたら締め直してください。ガラス扉のズレが生じた場合は、ガラス扉ヒンジのネジで調整してください。

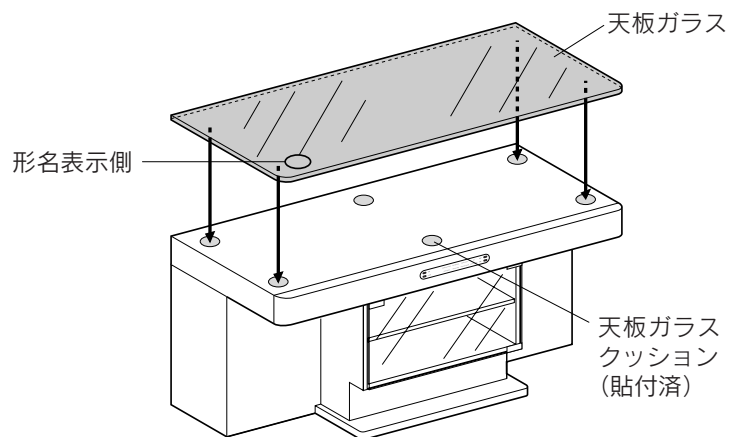
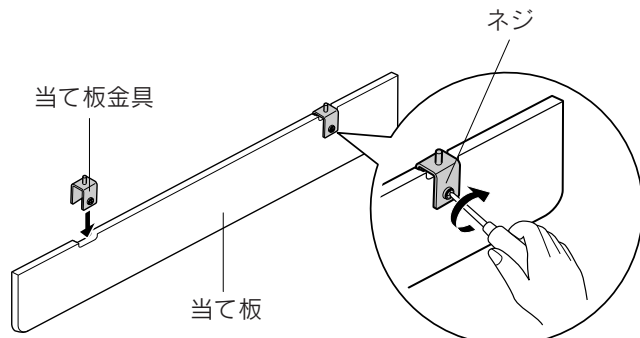
棚板を取りつける

1 棚板受用ダボ（4個）を側板に差し込む。

- 設置する機器に合わせて、高さを調整できます。（３段階）
- 前後、左右同じ高さとなるように取りつけます。
- 棚受用ダボは確実に取りつけてください。中途半端な取りつけでは、棚板がはずれて物が落ち、破損やけがをすることがあります。

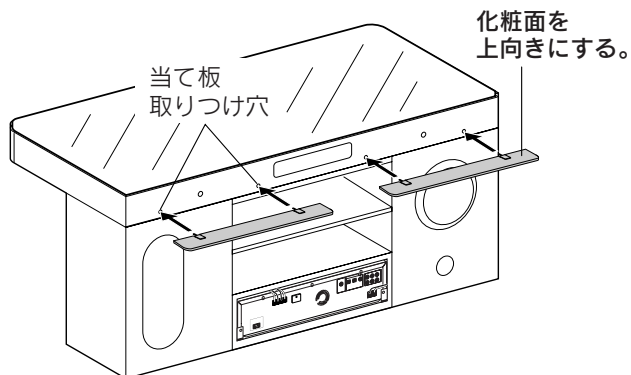
2 棚板を棚板受用ダボの上に載せる。

ガラス扉を取りつける

1 ガラス扉の上側に、ヒンジⒶを取りつける。

2 ガラス扉をラックに取りつける。

飾り金具を取りつける

マグネットがあたる位置に合わせてクッションシートを貼りつけたあと、飾り金具を差し込む。

天板ガラスを天面に載せる

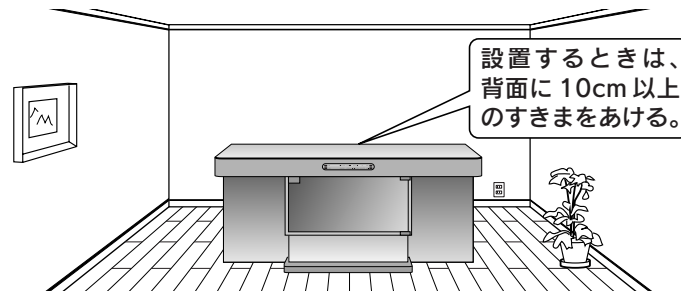
この作業は２人以上で行ってください。

当て板を取りつける

1 当て板に当て板金具を取りつける。

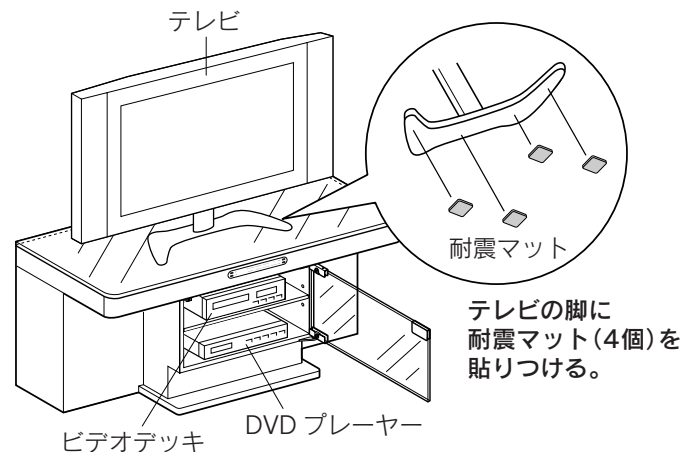
当て板金具のネジ側の部分が当て板の化粧面でない側になるように取りつけてください。

2 当て板をラックに差し込む。

移動するときは、当て板を持たないでください。

本機やテレビなどを設置する

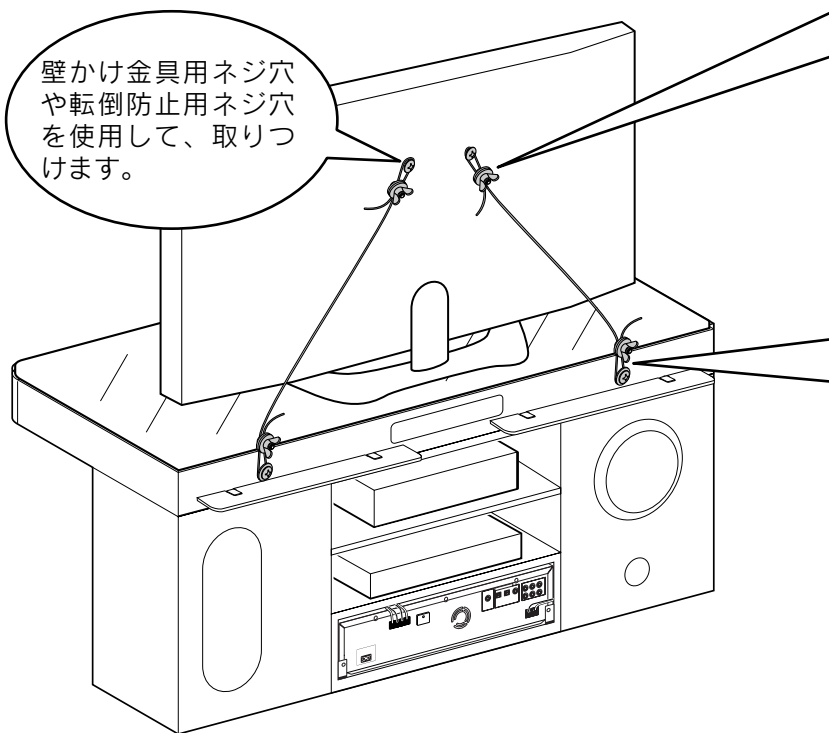
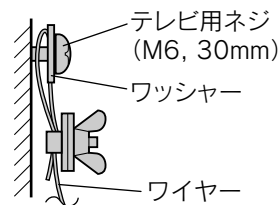
AN-45T1

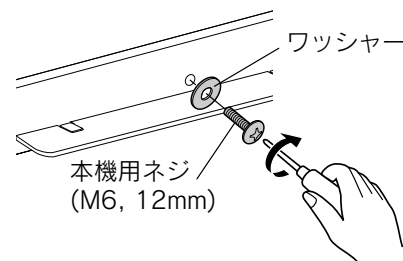
本機を部屋に設置する

テレビやDVDプレーヤーなどを設置したり、接続したりするときは作業スペースを確保のうえ、設置してください。
(設置するときは、2人以上で行ってください。)

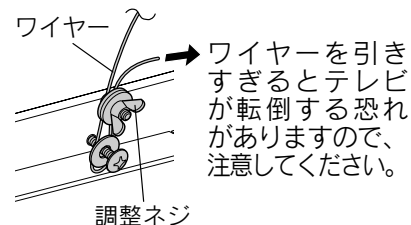
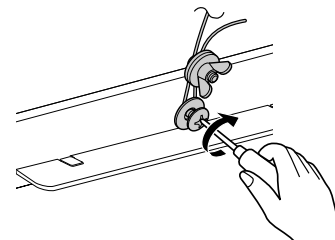
テレビや DVD プレーヤーなどを設置する

テレビの脚形状により、付属の耐震マットが使えないときは、市販の耐震マットを使用してください。

転倒防止用ワイヤーを取りつける

テレビを設置するときは、不意の地震のときや、お子様がテレビや本機に登ったり、ぶらさがったり、揺すったりしますと、倒れてけがをする恐れがあります。本機に同梱のテレビ転倒防止用ワイヤーを使用して、転倒防止策の実施をお願いします。

壁かけ金具用ネジ穴や転倒防止用ネジ穴を使用して、取りつけます。

1 **テレビ本体にワッシャーとテレビ用ネジを取りつける。**

2 **ワッシャーのすきまにワイヤーをかけて、テレビ用ネジを締め直す。**

3 **転倒防止用ワイヤー取付部にワッシャーと本機用ネジを取りつける。**

4 **ワッシャーのすきまにワイヤーをかけて、ワイヤーがたるまない程度にワイヤーを引っ張り、調整ネジを締める。**

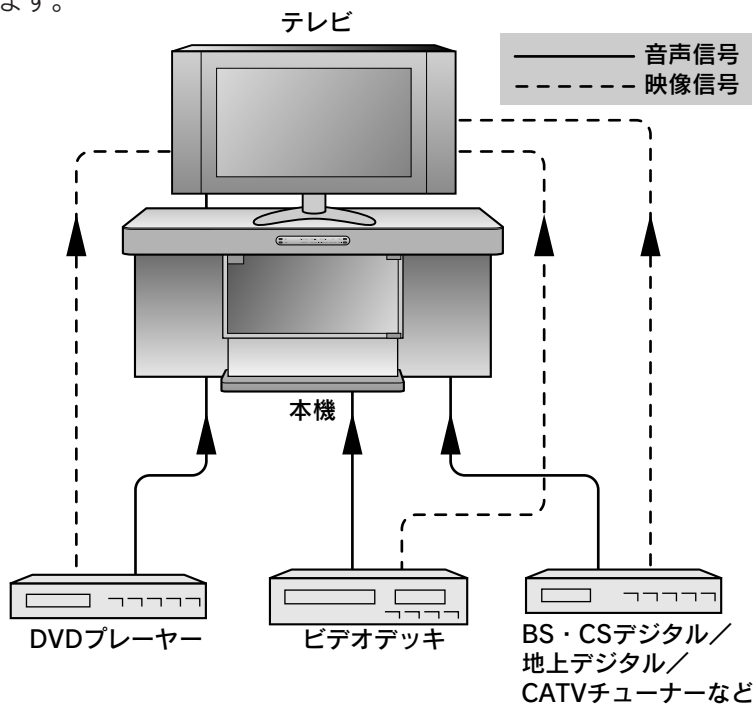
ワイヤーを引きすぎるとテレビが転倒する恐れがありますので、注意してください。

5 **本機用ネジをしっかり締めて固定する。**

6 **4つの調整ネジをしっかり締め直す。**

お知らせ

- 付属のテレビ用ネジが使えないときやテレビに取りつけ用ネジ穴がないときは、ご使用のテレビの取扱説明書をごらんのうえ、転倒防止策の実施をお願いします。

テレビやDVDプレーヤーなどを接続する

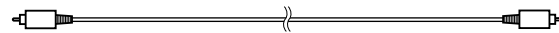
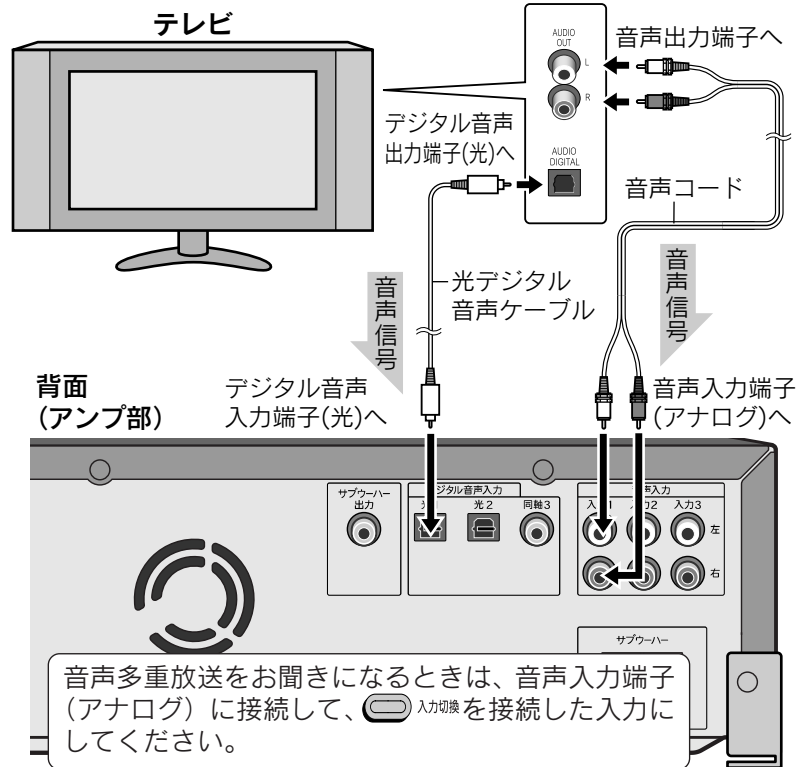
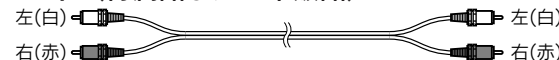
接続するときは、それぞれの機器の電源コードを抜いてから行ってください。また、それぞれの機器の取扱説明書もよくごらんください。

下図は、本機を使用した場合の音声または映像信号の流れを表しています。

お知らせ

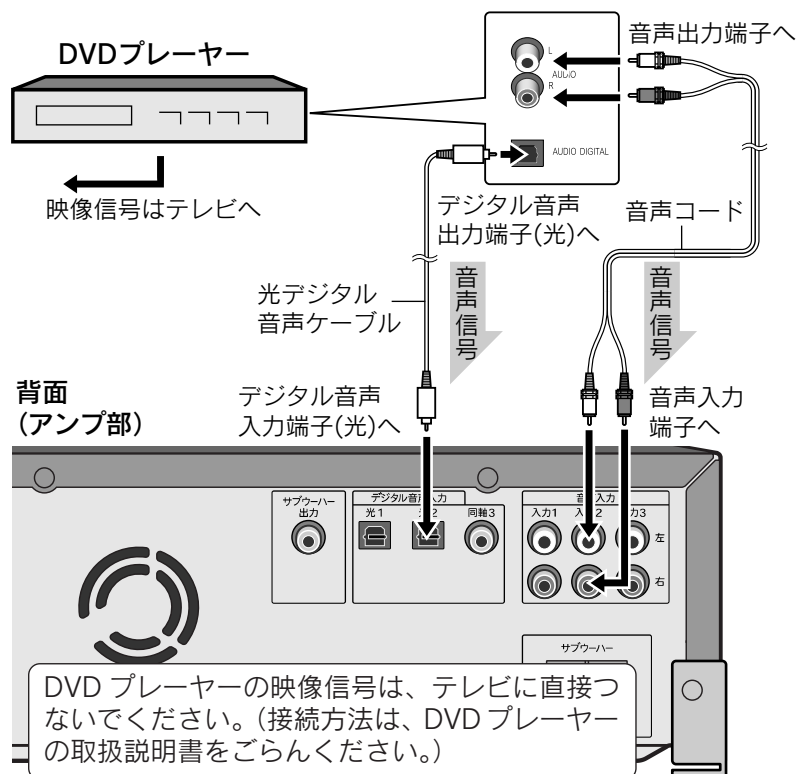
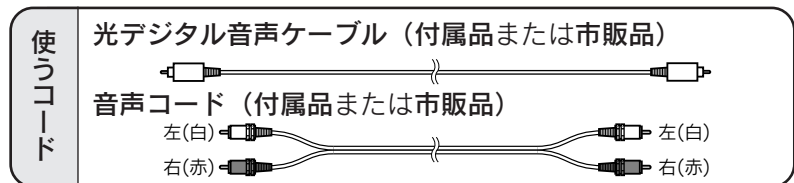
- 同軸デジタルケーブルは付属されていません。
  市販品をお買い求めください。
- 音声コードは、抵抗の入っていないものをお買い求めください。
  抵抗の入っている音声コードを使うと音が小さくなります。
- 各プラグは最後までしっかり差し込んでください。
  雑音の原因となります。
- 接続する機器の取扱説明書も合わせてごらんください。

■テレビを接続する

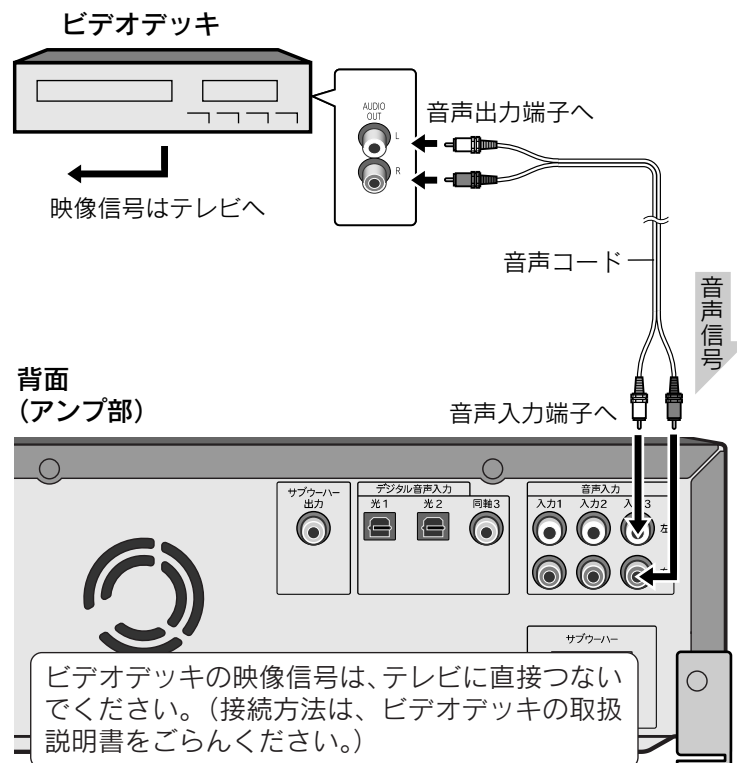
光デジタル音声ケーブルと**音声コード**の両方を使ってテレビと接続します。

音声多重放送をお聞きになるときは、音声入力端子（アナログ）に接続して、入力切換を接続した入力にしてください。

■DVD プレーヤーを接続する

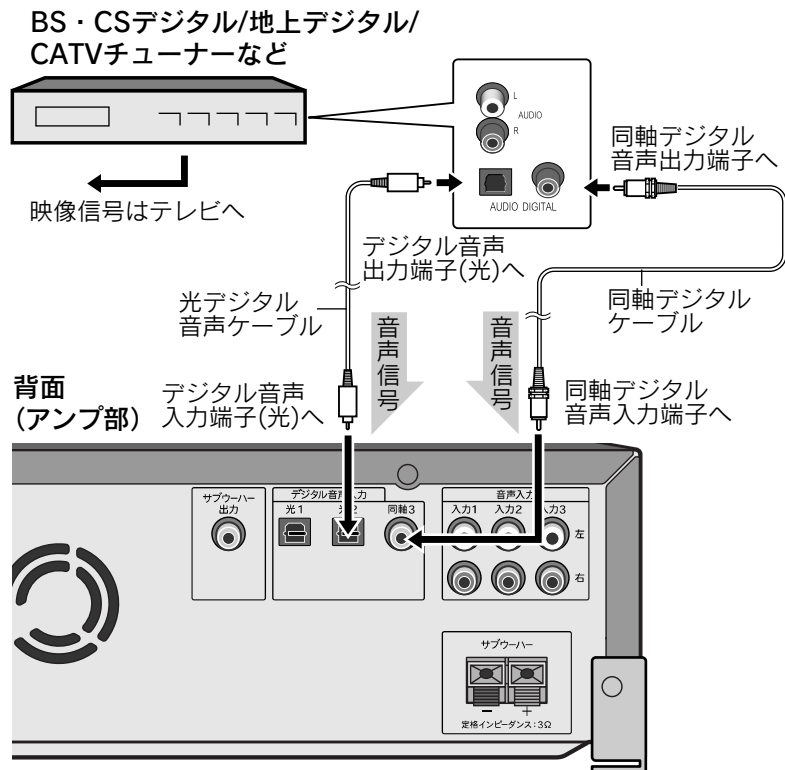
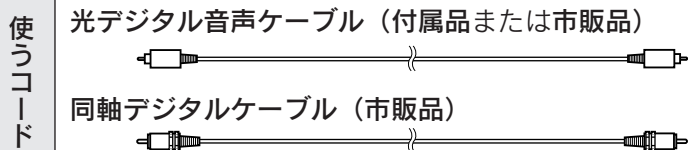
光デジタル音声ケーブルまたは**音声コード**を使って DVD プレーヤーと接続します。

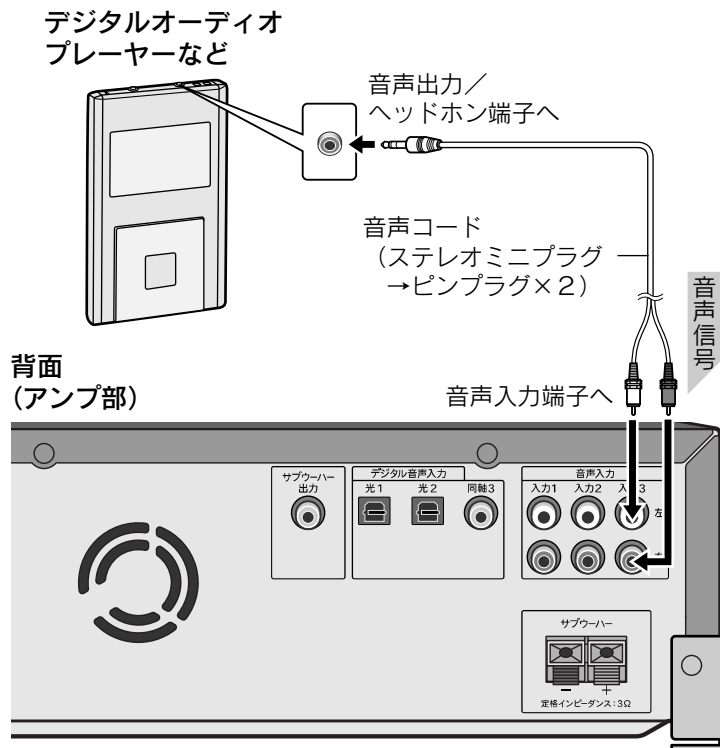
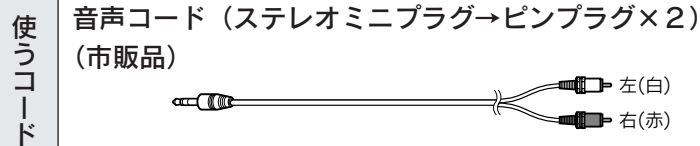
DVD プレーヤーの映像信号は、テレビに直接つないでください。（接続方法は、DVD プレーヤーの取扱説明書をごらんください。）

■ビデオデッキを接続する

音声コードを使ってビデオデッキと接続します。

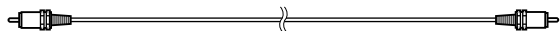
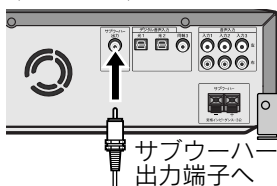
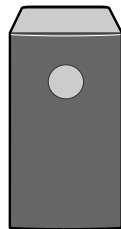
ビデオデッキの映像信号は、テレビに直接つないでください。（接続方法は、ビデオデッキの取扱説明書をごらんください。）

テレビや DVD プレーヤーなどを接続する（続き）

■BS・CS デジタル／地上デジタル／CATV チューナーなどを接続する

光デジタル音声ケーブルまたは**同軸デジタルケーブル**を使って、BS・CS デジタル／地上デジタル／ CATV チューナーなどと接続します。

■その他の機器を接続する

音声コード（ステレオミニプラグ→ピンプラグ×２）を使って、デジタルオーディオプレーヤーなどと接続します。

■市販のアンプ内蔵サブウーハーを使うとき

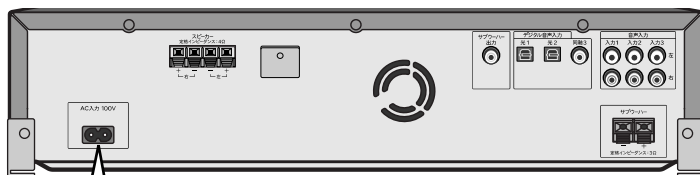
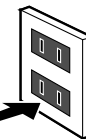
サブウーハー出力端子に、**音声コード**を使って市販のアンプ内蔵サブウーハーをつなぐことができます。

接続するときは、それぞれの機器の電源コードを抜いてから行ってください。

お知らせ

- 音声コードは、抵抗の入っていないものをお買い求めください。抵抗の入っている音声コードを使うと音が小さくなります。
- サブウーハー出力端子にアンプを内蔵していないサブウーハーを接続しても音は出ません。
- 内蔵のサブウーハーとアンプ内蔵サブウーハーを両方とも接続すると、両方から音が出ます。
  また、サブウーハーの音量レベル（☞ P.28）を変更すると、両方同時に設定されます。
- 内蔵のサブウーハーを使用しないときは、背面アンプ部のサブウーハー出力端子からスピーカーコードを抜いておいてください。

電源コードを接続する

AN-45T1

各機器の接続が終わったら、最後に電源コードを家庭用コンセントに差し込んでください。

電源表示ランプが赤色に点灯します。

節電のために

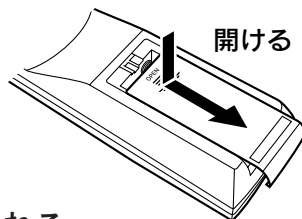
旅行などで長時間使用しないときは、電源コードをコンセントから抜いておきましょう。電源を切っていても、わずかですが電力を消費しています。

ご注意

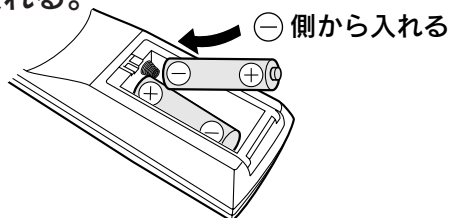
- 電源コードを抜くときは、**電源を切ってから**プラグを持って抜いてください。線を引っ張ると断線の原因となります。
- **付属品以外の電源コードは絶対に使用しないでください。**故障や事故の原因となります。

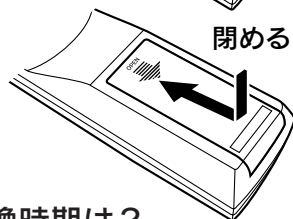
リモコンに乾電池を入れる

1 フタを開ける。

開ける

2 単４乾電池を２本入れる。

⊖側から入れる

乾電池の方向に注意
して入れてください。
⊕、⊖をまちがえると、
故障の原因となります。

3 フタを閉める。

閉める

リモコン用乾電池の交換時期は？

通常のご使用で約１年です。

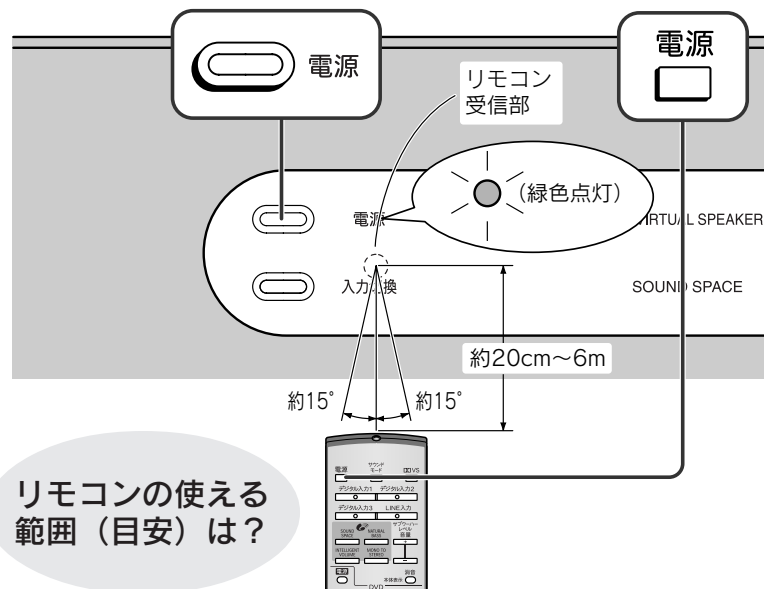
リモコン受信部に近よらないと動作しなくなったときは、乾電池を交換してください。

お知らせ

- リモコンには充電池（ニカド電池など）を使用しないでください。充電池では正しく動作しません。
- リモコン受信部に強い光があたる場所では使用しないでください。誤動作の原因となります。
- リモコン受信部や送信部にシールなどを貼ったり、本体とリモコンの間には障害物などを置かないでください。
リモコンの操作ができなくなります。
- リモコン受信部や送信部にほこりがたまると、動作しにくくなることがあります。やわらかい布でふきとってください。

電源を入れる

AN-45T1

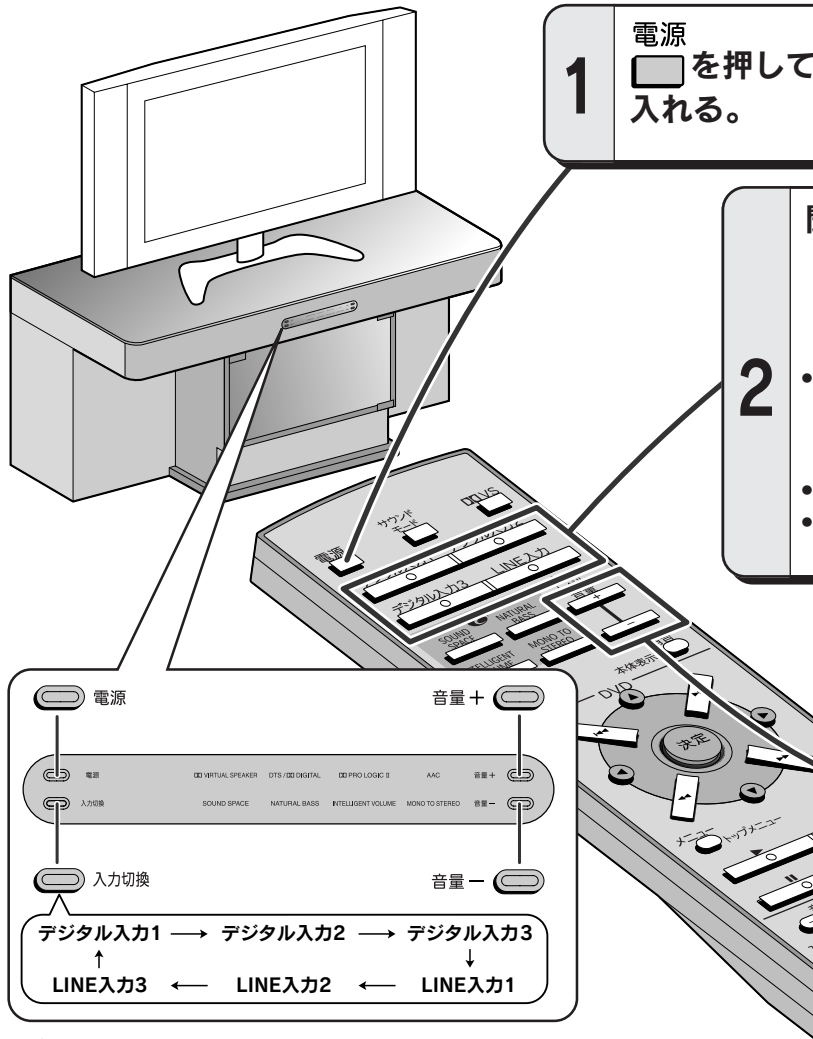
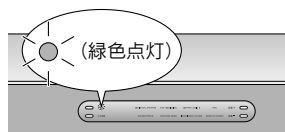
電源（本体）または電源（リモコン）を押す。

電源を切るには…

もう一度、電源または電源を押す。

お知らせ

- 電源が入らないときは、電源コードが正しくつながっているか、またはリモコンに乾電池が正しく入っているか確認してください。
- 電源を切ったあとの２～３秒は、すぐに電源が入りません。

テレビや DVD、ビデオなどの音を聞く

AN-45T1

1
電源
を押して、本機の電源を入れる。
(緑色点灯)

2 聞きたい機器への入力を選ぶ。
デジタル入力1 デジタル入力2
デジタル入力3 LINE入力

デジタル入力1 d 1
デジタル入力2 d 2
デジタル入力3 d 3

- デジタル入力は、それぞれのボタンを押します。
  (デジタル入力に信号がないときは、表示が点滅します。)
- LINE 入力は、くり返し押します。
- 本体で操作するときは…
  入力切換をくり返し押す。

LINE入力1 L 1
LINE入力2 L 2
LINE入力3 L 3

3 聞きたい機器を再生する。

4
サブウーハーレベル 音量 + または サブウーハーレベル 音量 − を押して、音量を調整する。

5 サラウンドやいろいろな音質を楽しむ。
(☞P.29 ~ 34)

電源　音量＋
入力切換　音量－

デジタル入力1 → デジタル入力2 → デジタル入力3
↑　↓
LINE入力3 ← LINE入力2 ← LINE入力1

お知らせ
- 音声多重放送をお聞きになるときは、音声入力端子（アナログ）に接続して、入力切換を接続した入力にしてください。(☞ P.22)

聞き終えたら
電源
を押して、電源を切る。
(音量を下げたあと、電源を切ってください。)

音量などを調整する

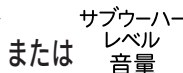
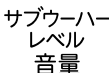
音量を調整するには

サブウーハー レベル 音量 [＋] または サブウーハー レベル 音量 [－] を押す。

大きくなる　小さくなる

00 ～ 40　調整範囲：0 (小) ～ 40 (大)
初期設定値：20

サブウーハーの音量レベルを調整するには

サブウーハーから聞こえる音の大きさを調整します。

シフト を押したまま、サブウーハー レベル 音量 [＋] または サブウーハー レベル 音量 [－] を押す。

0　調整範囲　：-8～8
初期設定値：0

お知らせ
- サブウーハーの音が大きすぎて歪むときは、サブウーハーのレベルを下げてください。
- サブウーハーのレベルの設定を変更すると、アンプ内蔵サブウーハー出力端子に接続されたサブウーハーも同じ設定になります。別々に設定することはできません。

音のエチケットについて
- 楽しい音楽も場所によっては気になるものです。ご近所のご迷惑にならないよう、十分気をつけましょう。
- 夜間にお使いになるときは、ご近所のご迷惑にならないよう、音量を小さくしてお楽しみください。

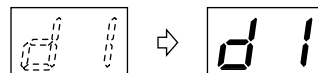
一時的に音を消すには

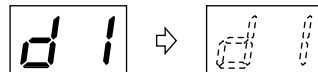
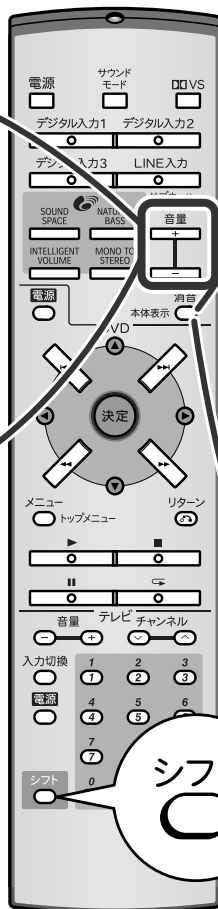
消音 を押す。

3 秒間点滅

- もう一度押すと、もとの音量に戻ります。
- 他のボタン操作をしても、消音モードは解除されます。ただし、テレビやDVDプレーヤーの操作、本体表示切り換えの操作をしたときは、解除されません。
- 電源を切って入れ直すと、設定は解除されます。

表示部を点灯モードにするには

シフト を押したまま、本体表示 消音 を押す。

- 電源を切って入れ直すと、点灯モードは解除され、消灯モードになります。

消灯モードに戻すには：
もう一度 シフト を押したまま、本体表示 消音 を押す。

消灯モードにしても、入力切換や音量調整、サウンドモードの切換、サブウーハーのレベル調整、消音モードなどの操作を行うと、現在の設定を３秒間表示します。

サラウンドやいろいろな音質を楽しむ

プリセットサウンドモードで楽しむ

6種類のモードの中からお好みの音場を手がるに選べます。

☞ P.30～31

- スタンダード（STANDARD）
- シネマ（CINEMA）
- アナウンサー（ANNOUNCER）
- サウンド（SOUND）
- スポーツ（SPORTS）
- レイト（LATE）

ドルビーバーチャルスピーカー

2.1chのシステムでサラウンド再生が楽しめます。

☞ P.32

2.1chのシステムで5.1chのような立体的な広がりのあるサウンドを楽しむことができます。

オーディストリー

4つの機能を単独あるいは、組み合せて、お好みのサウンドを楽しめます。

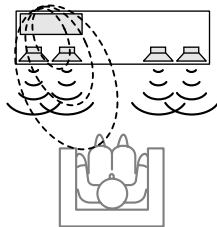
☞ P.33

- サウンドスペース（SOUND SPACE）
- ナチュラルバス（NATURAL BASS）
- インテリジェントボリューム（INTELLIGENT VOLUME）
- モノーステレオ（MONO TO STEREO）

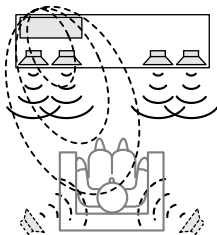
サラウンドやいろいろな音質を楽しむ（続き）

■プリセットサウンドモードと音のイメージ

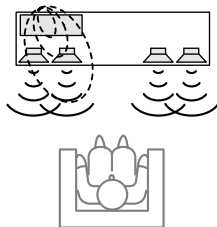
スタンダード STANDARD Sd

標準のステレオ音で楽しめます。

シネマ CINEMA CI

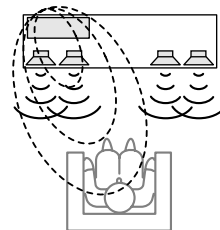
低音のレベルが強調された迫力のある音とともに、5.1chのような広がりのある音場を楽しめます。

映画などに適したモードです。

アナウンサー ANNOUNCER An

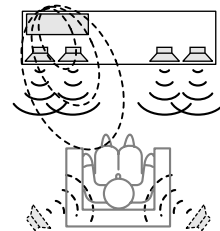
低音のレベルが抑制され、解説などの声が小音量にしても聞きとりやすくなります。

ニュースなどに適したモードです。

サウンド SOUND So

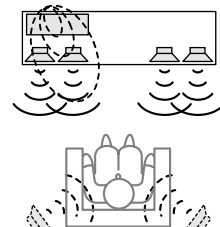
低音のレベルが強調され、歯切れの良いメリハリのある音とともに、2.1chで広がりのある音を楽しめます。

音楽などに適したモードです。

スポーツ SPORTS

解説の声は中央に定位し、歓声や場内などの周囲の雰囲気は5.1chのような広がりのある音場で楽しめます。

野球やサッカーなどのスポーツ中継に適したモードです。

レイト LATE LA

セリフが聞きとりやすく、大きな音が抑えられるため、小音量にしても、5.1chのような広がりのある音場を楽しめます。

映画などの音を深夜に小音量で聞くときに適したモードです。

お知らせ

- それぞれのプリセットサウンドモードのサブウーハーの音量レベルは、推奨のレベル値にあらかじめ設定されています。
- サブウーハーの音量レベル調整（☞ P.28）は、それぞれのプリセットサウンドモード毎に設定することができます。
  お買いあげ時の状態に戻したいときは、〈**リセット操作**〉（☞ P.40）を行ってください。

■プリセットサウンドモードを選んで聞くには

最適な音質となるように、推奨するレベル値に調整された６種類のプリセットサウンドモードの中から、お好みのサウンドモードを選んで楽しめます。

サウンドモード をくり返し押して、聞きたいサウンドモードを選ぶ。

プリセットサウンドモードの種類	モード表示	各ランプの点灯状態				
		ドルビーバーチャルスピーカーランプ	サウンドスペースランプ	ナチュラルバスランプ	インテリジェントボリュームランプ	モノーステレオランプ
STANDARD	Sd	○	○	○	○	○
CINEMA	C1	点灯	○	点灯	○	○
ANNOUNCER	An	○	○	○	点灯	○
SOUND	So	○	点灯	○	○	○
SPORTS	SP	点灯	○	○	点灯	○
LATE	LA	点灯	○	点灯	点灯	○

（点灯）　○（消灯）

音を楽しむ

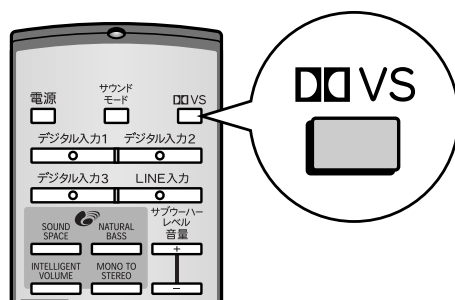
サラウンドやいろいろな音質を楽しむ

■ドルビーバーチャルスピーカー(DVS)で聞く

ドルビーバーチャルスピーカー（DVS）は、2.1ch スピーカーで5.1chを鳴らしたときと同じような響きのある立体的な仮想サラウンドを楽しむことができるシステムです。
2chのステレオ信号でもDVSを「ON」にすると、ドルビープロロジックII（☞P.34）が働いて、5.1chに変換された信号をもとに、仮想サラウンドの効果を得ることができます。

DDVS を押す。

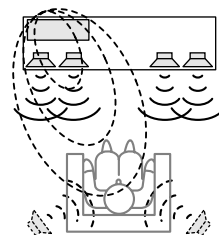
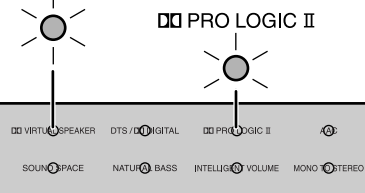
ドルビーバーチャルスピーカーランプが点灯します。

「OFF」にするには、もう一度 DDVS を押す。

お知らせ
- お買いあげ時の DVS の状態は、「ON」になっています。
- DVSを「ON」にすると、プリセットサウンドモードの設定と、オーディストリー（サウンドスペースモード、モノーステレオモード）の設定は解除されます。（オーディストリーのナチュラルバスモードとインテリジェントボリュームモードの設定は、解除されません。）
- モノラル信号では、サラウンド効果を得ることはできません。
- 入力信号の種類によっては、DVS が働かないことがあります。（例：音声多重などの信号のとき）
  そのときは、ドルビーバーチャルスピーカーランプが点滅し、DVSの効果は得られません。DVS を「OFF」にしてください。

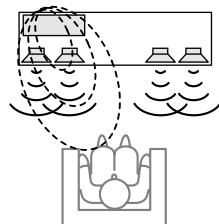
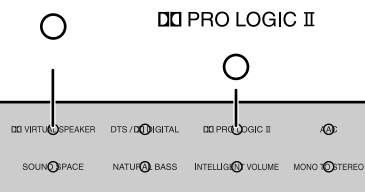
ON時

ドルビーバーチャルスピーカーが働き、マルチチャンネルのような立体的な広がりのあるサラウンド効果音を楽しめます。

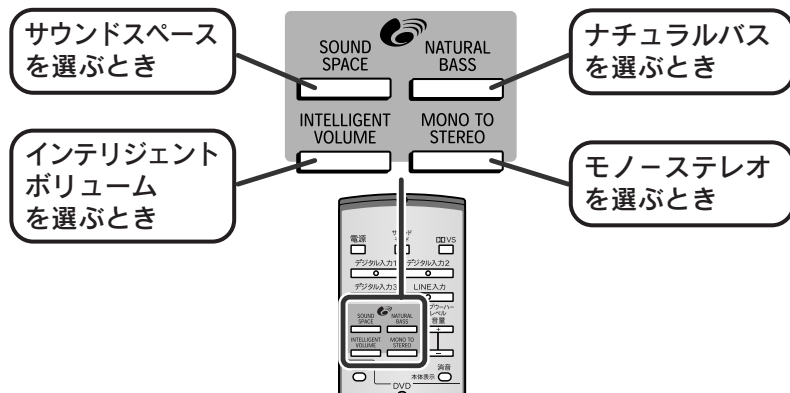
シネマモードにくらべて、低音のレベルを少し抑えた感じになります。

2chのステレオ信号のときは、ドルビープロロジック IIランプも点灯します。

OFF時

ドルビーバーチャルスピーカーの動作が解除されます。

ドルビーバーチャルスピーカーが「OFF」のときは、プリセットサウンドモード（☞P.30～31）やオーディストリー（☞P.33）を使って、いろいろな音を楽しむことができます。

■オーディストリー(Audistry)のサウンドを楽しむ

4つのモードをそれぞれ単独あるいは組み合せて、お好みのサウンドをお楽しみください。

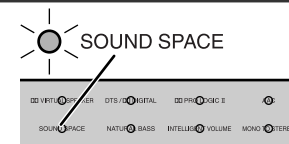
聞きたいモードのボタンを押してください。
もう一度押すと解除できます。

同時に設定可能な組み合せ

○：有効　×：無効

	SOUND SPACE	NATURAL BASS	INTELLIGENT VOLUME	MONO TO STEREO
SOUND SPACE 選択時		○	○	○
NATURAL BASS 選択時	○		○	○
INTELLIGENT VOLUME 選択時	○	○		○
MONO TO STEREO 選択時	○	○	○	
DVS 選択時	×	○	○	×

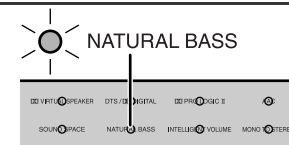
サウンドスペース
SOUND SPACE

(サウンドステージ拡張)

4つのスピーカーからワイドなステレオ感のある音を楽しめます。

(サウンドスペースランプ点灯)

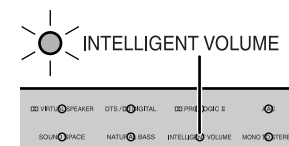
ナチュラルバス
NATURAL BASS

(スピーカー低音拡張)

システムの低域特性を最大限に生かした低音を楽しめます。

(ナチュラルバスランプ点灯)

インテリジェント　INTELLIGENT
ボリューム　VOLUME

(ピークリミッター&エキスパンダー)

音の大きな場面では音量を下げ、音の小さな場面では音量を上げ、聴きやすい適切な音量感を実現します。

(インテリジェントボリュームランプ点灯)

モノ-ステレオ　MONO TO STEREO

(モノラル→ステレオ変換)

モノラルの音源をステレオ感覚で楽しむことができます。

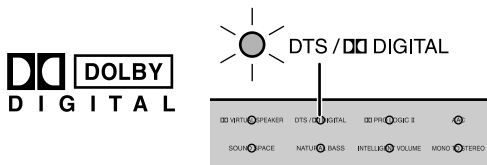
(モノーステレオランプ点灯)

お知らせ

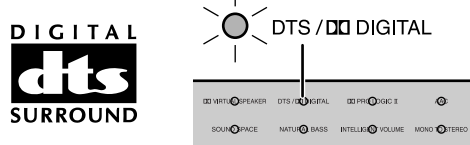
- オーディストリーの各モードを「ON」にすると、プリセットサウンドモードの設定は解除されます。
- サウンドスペースモードやモノーステレオモードを「ON」にすると、DVSの設定も解除されます。(ナチュラルバスモードやインテリジェントボリュームモードを「ON」にしても、DVSの設定は解除されません。)
- 入力信号の種類によっては、サウンドスペースモードやモノーステレオモードが働かないことがあります。(例：音声多重などの信号のとき) そのときは、サウンドスペースランプ、モノーステレオランプが点滅し、それぞれのモードの効果を得ることはできません。

各種デコーダーについて

この製品には、ドルビーデジタル方式・DTS 方式・デジタル放送の AAC 方式に対応した各種デコーダーを搭載しています。

DOLBY（ドルビー） DIGITAL（デジタル）

劇場向けデジタル音声システムの 1 つです。本機では、このドルビーデジタル方式の音を楽しむことができます。

- ドルビーデジタル方式の信号が入力されると点灯。（緑色）

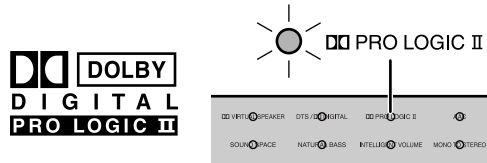
DTS(Digital（デジタル） Theater（シアター） Systems（システムズ）)

劇場向けデジタル音声システムの1つです。本機では、このDTS方式の音を楽しむことができます。

- DTS 方式の信号が入力されると点灯。（赤色）

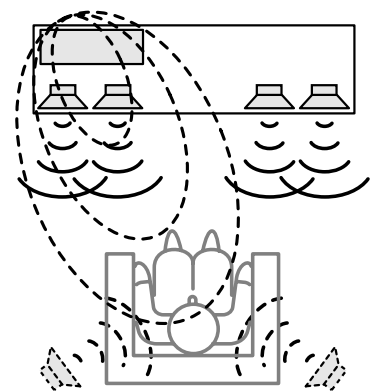
AAC(Advanced（アドバンスド） Audio（オーディオ） Coding（コーディング）)

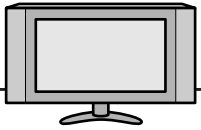
BS デジタル放送に採用されているデジタル音声システムです。デジタルチューナーからの出力を光デジタルケーブルを使って本機に接続したときは、高音質な音を楽しむことができます。

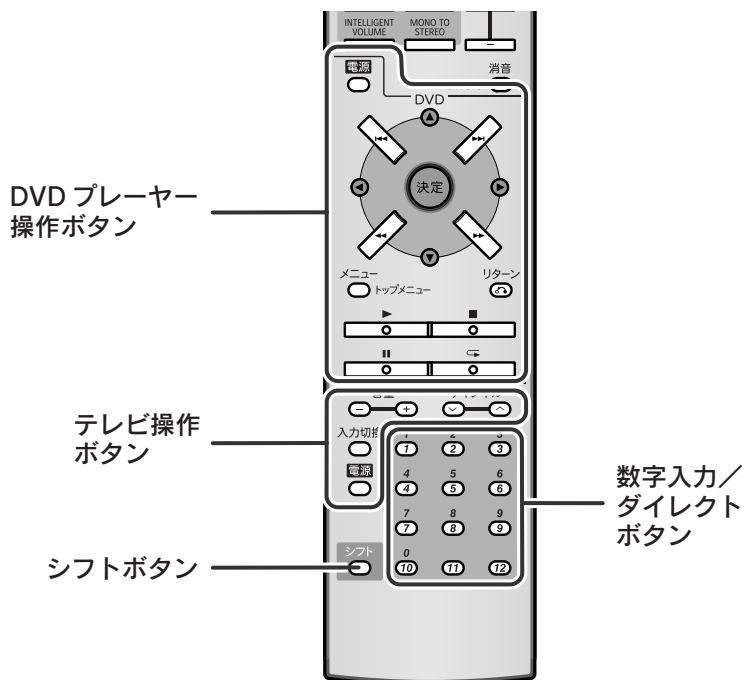
- デジタル放送の AAC 方式の信号が入力されると点灯。（緑色）

DOLBY（ドルビー） PRO（プロ） LOGIC（ロジック） II

2chステレオ音声を広がりのある音に拡張するシステムで、2ch ステレオ信号のとき、ドルビーバーチャルスピーカーを「ON」にすると、ドルビープロロジックIIが働き、立体的な音響効果を楽しめます。

- ドルビープロロジックIIが働くと点灯。（緑色）

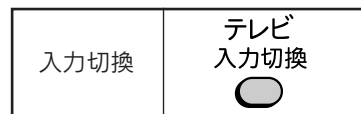
プリセットサウンドモード、ドルビーバーチャルスピーカー（DVS）やオーディストリーなどの機能を使って、いろいろなサウンドを楽しむことができます。
（☞ P.29 ～ 33）

この製品のリモコンで、テレビやDVDプレーヤーを操作する

AN-45T1

お買いあげ時は、シャープ製のテレビやDVDプレーヤーを操作できるようになっています。
シャープ製やシャープ製以外のテレビ／DVDプレーヤーでも操作できない製品は、メーカー設定を変えるとリモコンで操作ができるようになります。（☞ P.37）

機種によっては、本機のリモコンで一部の機能を操作できない場合があります。また、全く操作できない場合もあります。このような場合はそれぞれの製品に付属していますリモコンを使用してください。

■テレビを見る

1	リモコンをテレビに向けて… テレビ 電源 を押して、テレビの電源を入れる。
2	1 ～ 12 を押して、テレビのチャンネルを選ぶ。 テレビ チャンネル を押して、テレビのチャンネルを合わすこともできます。
3	テレビ 音量 を押して、テレビの音量を調整する。

他に操作できるボタン

入力切換	テレビ 入力切換

■DVDを再生する

1	リモコンをDVDプレーヤーに向けて… DVD 電源 を押して、DVDプレーヤーの電源を入れる。
2	▶ を押す。 再生が始まります。
3	■ を押す。 再生が停止します。

この製品のリモコンで、テレビやDVDプレーヤーを操作する（続き）

AN-45T1

■DVDプレーヤーのいろいろな操作

DVDプレーヤーの機種によっては、本機のリモコンで一部の機能を操作できない場合や全く操作できない場合があります。また、操作内容が異なることもあります。
このような場合は、それぞれの製品に付属していますリモコンを使用してください。
くわしい操作手順や動作などにつきましては、お使いのDVDプレーヤーの取扱説明書をごらんください。

動作	使うボタン	操作手順
早送りする （サーチ）	▶▶	**再生中に押す。** • 解除するときは、▶を押す。
早戻しする （サーチ）	◀◀	**再生中に押す。** • 解除するときは、▶を押す。
チャプターの頭出しをする （スキップ）	▶▶❘	**再生中に押す。** 次のチャプター（トラック）を頭出しします。
	❘◀◀	**再生中に押す。** いま見ているチャプター（トラック）の先頭に戻ります。 • 続けて押すと、前のチャプター（トラック）の先頭に戻ります。
静止画面にする （静止画再生）	❚❚	**再生中に押す。** • 音楽用CDを再生しているときは、一時停止の状態になります。 • 解除するときは、▶を押す。静止画再生が解除され、再生画面に戻ります。
コマ送りする （コマ送り再生）	▶▶❘	**静止画再生中に押す。** • 解除するときは、▶を押す。コマ送り再生が解除され、再生画面に戻ります。

動作	使うボタン	操作手順
タイトル（チャプター）をくり返し再生する （リピート再生）	リピート ◀ ▶ 決定	**1. くり返し見たいタイトル（トラック）またはチャプターを選び再生し、リピートを押す。** **2. カーソルボタン◀ ▶を押して、「再生中タイトル」または「再生中のチャプター」を選び、決定を押す。** リピート再生が設定されます。 • リピート再生を解除するときは、リピートを押す。
DVDビデオにメニューがあるとき… **タイトルを選んで再生する**	シフト メニュー トップメニュー ▲▼◀▶ 決定	**1. シフトを押したまま、メニュー トップメニューを押す。** **2. カーソルボタン▲▼◀▶を押して、希望するタイトルを選び、決定を押す。** 選んだタイトルが再生されます。 • 再生を止めたいときは、■を押す。
DVDビデオにメニューがあるとき… **ディスクガイドを選んで再生する**	メニュー トップメニュー ▲▼◀▶ 決定	**1. メニュー トップメニューを押す。** **2. カーソルボタン▲▼◀▶を押して、「字幕」を選び、決定を押す。** **3. カーソルボタン▲▼◀▶を押して、「言語」を選び、決定を押す。** 選んだ言語で字幕が表示されます。

リモコンのメーカー設定を変える

AN-45T1

■テレビのメーカー設定を変えるには

テレビ電源 を押したまま、1 ~ 10 で、メーカー設定番号（4 ケタ）を入力する。

● 設定したあと、正しく動作するか、確かめてください。

お知らせ

- シャープ製のテレビや DVD プレーヤーでも、一部の機種は操作できないものがあります。
- メーカー番号が2つ以上あるときは、順に試してみて操作できる番号を選んでください。
- メーカー番号を登録すると、それまでのメーカー番号は消えます。
- リモコンの乾電池を交換したときは、メーカー番号がお買いあげ時の設定に戻ることがあります。そのときは、もう一度登録してください。
- テレビやDVDプレーヤーによっては、設定できないものがあります。また、設定できても一部のボタンが使えないことがあります。

■DVDプレーヤーのメーカー設定を変えるには

DVD電源 を押したまま、1 ~ 10 で、メーカー設定番号（4 ケタ）を入力する。

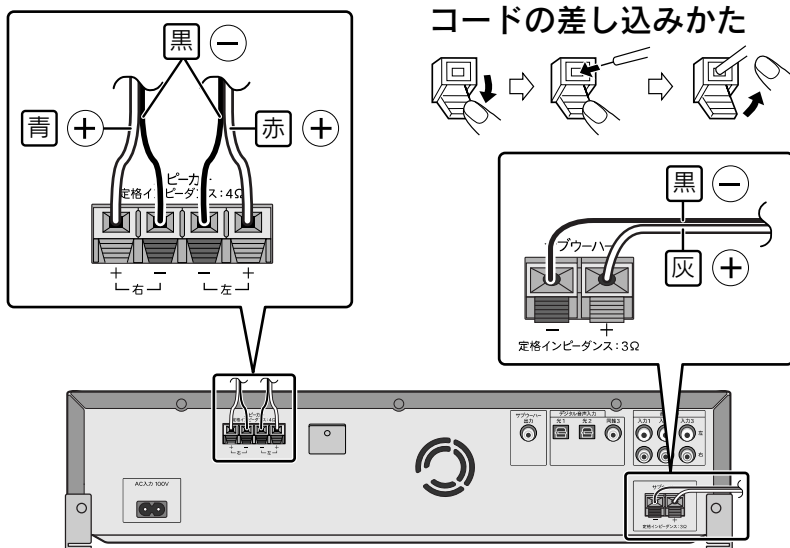
● 設定したあと、正しく動作するか、確かめてください。

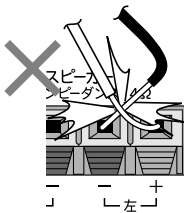
メーカー名	テレビ設定番号	DVD プレーヤー設定番号
シャープ	1010(*), 1012, 1018, 1025	2006(*), 2021
松下電器	1013	2003, 2019
日本ビクター	1028	2004
ソニー	1001	2002, 2016
三菱電機	1000, 1005, 1007, 1032	2023
日立製作所	1015, 1020, 1031	2012
東芝	1016, 1021, 1022	2001
パイオニア	1024	2000, 2009, 2018, 2020
三洋電機	1021	2024
富士通	1023, 1029	設定できません
フナイ	1027	2025
NEC	1007, 1009, 1015, 1026	設定できません
ヤマハ	1007, 1009	2026
SAMSUNG	1000, 1007, 1009, 1015, 1016, 1030	2005
RCA	1007, 1010, 1011, 1013	2008, 2011
PHILIPS	1014, 1033	2013
LG	1002, 1015	2022
DAEWOO	1004, 1007, 1017, 1019, 1021	2027

*お買いあげ時のメーカー番号は、テレビが 1010(シャープ)、DVD プレーヤーが 2006(シャープ)に設定されています。

使用上のご注意

■スピーカーコードを再接続するには

- スピーカーコードをはずし、再び接続するときは、コードの ⊕(プラス) と ⊖ (マイナス) をまちがえないように接続してください。
- 接続の際には、スピーカーコードの先端が隣の端子にふれることのないよう、確実に固定してください。(⊕ と ⊖ がふれるとショートします。)

ご注意

- スピーカーコードの接続は、必ず電源コードを抜いてから行ってください。
- **スピーカーコードをショートさせないでください。**
  電源が入っているときに、誤ってスピーカーコードをショートさせてしまうと、保護回路が働いて電源が切れることがあります。このときは、一度電源コードをコンセントから抜いて、スピーカーコードが正しく接続されていることを確かめたあと、再び電源コードをコンセントに差し込んで、電源を入れてください。

■高温部への接触について

使用中は、内部から発生する熱により、本機背面のアンプ部が熱くなります。
長時間触れていると、やけどの原因となることがあります。特にお子様のいる家庭ではご注意ください。

■防磁対応について

フロントスピーカーは、防磁対応されていますので、テレビを置くことができます。ただし、使うテレビによっては、テレビ画面に色ムラが生じることがあります。

テレビ画面に色ムラがおきたら…

いったんテレビの電源を切り、15～30分後に再び電源を入れてください。

それでも色ムラが残るときは…

テレビの位置を少し変えてみてください。

近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には、スピーカーとの相互作用により、テレビ画面に色ムラが生じることがありますので、設置にご注意ください。

お知らせ

- サブウーハーは、防磁対応ではありません。
- この製品は、5℃～35℃の場所でお使いください。
- パソコンなどの機器の近くで使用すると、それらの機器やこの製品に雑音が入ることがあります。そのときは、それらの機器の電源を切るか、この製品との距離をできるだけ離してください。
- この製品の近くで携帯電話を使用すると、この製品が誤作動することがあります。また、携帯電話やこの製品に雑音が入ることがあります。

「故障かな？」と思ったら

次のようなときは故障ではないことがありますので、修理を依頼される前に、もう一度お調べください。それでも具合の悪いときは、42ページの「**保証とアフターサービス**」をごらんのうえ修理を依頼してください。

■共通

参照ページ

症状	確認事項	参照ページ
スピーカーから音が出ない	➡ 音量が「0」になっていませんか。 ➡ スピーカーコードがはずれていませんか。 ➡ 一時的に音を消す設定になっていませんか。 ➡ 入力切換をまちがえていませんか。	P.27 P.28 P.15 P.38 P.28 P.27
スピーカーの音にばらつきがある	➡ スピーカーコードの ⊕、⊖ が、まちがって接続されていませんか。	P.15 P.38
雑音が出る	➡ パソコン・携帯電話などの機器が本機の近くにある場合は、離してください。	——
ボタンを押しているうちに正常な動作をしなくなった	➡ 一度、電源を切り、操作をやり直してください。それでも動作しないときは、<リセット操作>をしてください。	P.40
電源を入れても、表示部がつかない	➡ 表示部が消灯モードになっていませんか。点灯させたいときは、点灯モードに切り換えてください。	P.28
電源が入らない	➡ 電源プラグがコンセントからはずれていませんか。 ➡ 保護回路が働いていることがあります。電源プラグをコンセントから抜き、5分以上たってから再び差し込んでください。	P.25 P.40

■リモコン

参照ページ

症状	確認事項	参照ページ
リモコンで操作できないまたは、正しい動作をしない	➡ 乾電池の ⊕、⊖ の向きが逆になっていませんか。 ➡ 乾電池が消耗していませんか。 ➡ リモコンの送信部を本機のリモコン受信部に正しく向けていますか。 ➡ リモコン受信部との距離が遠すぎませんか。または、近すぎませんか。 ➡ 本機の前に障害物はありませんか。 ➡ リモコン受信部に強い光（インバーター蛍光灯や直射日光など）があたっていませんか。 ➡ 他の機器のリモコンを同時に操作していませんか。	P.26 P.26 P.26 P.26 P.26 P.26 ——
リモコンで電源が入らない	➡ 電源コードはつながっていますか。 ➡ 乾電池は入っていますか。	P.25 P.26
リモコンでテレビやDVDプレーヤーが操作できない	➡ 正しいメーカー番号を設定していますか。 正しく設定しても、メーカーまたは機種によっては操作できない場合があります。このような場合は、それぞれの製品に付属していますリモコンを使用してください。	P.37

■エラーメッセージについて

操作を誤ったときなどに、本体表示部に次のような表示がでます。

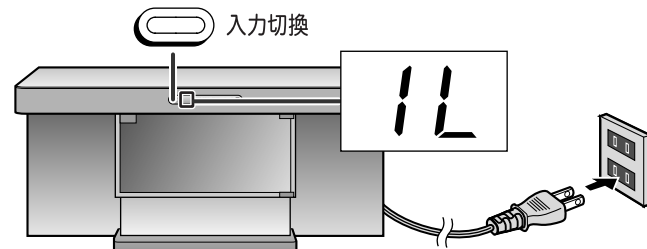
本体表示	エラーの内容
E1	・背面アンプ部の空冷ファンが回っていない。 → 電源プラグを抜いて、空冷ファン周辺に異物がはさまっていないか確認してください。
E2 E7	・サラウンド回路の動作不良。 → 近くに雑音を発生するものがあれば本体から離したり、電源プラグの差し込み位置を変えてみる。（※）
E3	・サラウンド回路以外の動作不良。 → 近くに雑音を発生するものがあれば本体から離したり、電源プラグの差し込み位置を変えてみる。（※）
d1 d2 d3	・入力信号がないとき。 → 接続した機器を再生してください。 ・規格外の信号で認識することができない。 → DOLBY DIGITAL、DTS、AAC、Liner PCM以外の信号は、認識することができません。 ・デジタル音声入力端子の接続不良。 → 電源を切って、コードが正しく接続されているか確かめてみる。
電源表示ランプ （赤色と緑色の交互点滅）	・アンプの保護回路が働いたとき。 → ☞ 右記

（※）電源プラグを差し込み直したり、電源を入れ直しても、同じ表示がでるときは、42ページの「**保証とアフターサービス**」をごらんのうえ、修理を依頼してください。

異常が起きたら

この製品を使用中に、強い外来ノイズ（衝撃、過大な静電気、または落雷による電源電圧の異常など）を受けたときや誤った操作をしたときなどに、正しく表示しなくなったり、操作を受けつけなくなるなどの異常が発生することがあります。
このようなときは、次のようにリセット操作をしてください。

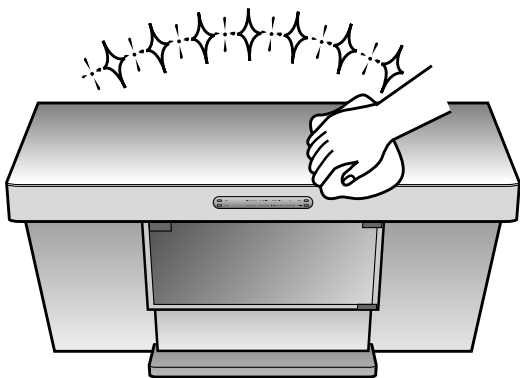
＜リセット操作＞

1 **電源コードをコンセントから抜きます。**
2 入力切換**を押したまま、電源コードを差し込みます。**
電源表示ランプ（緑色）が点灯し、表示部に“IL”が約1秒表示されたあと電源が切れます。

ご注意
リセット操作をすると、各種の設定はお買いあげ時の状態に戻ります。

＜アンプの保護回路が働いたとき＞

スピーカーコードがショートすると、保護回路が働くようになっています。保護回路が働くと、電源が自動的に切れて、電源表示ランプの赤色と緑色が交互に点滅します。
一度、電源コードをコンセントから抜いて、スピーカーコードが正しく接続されているか確認してください。5分以上たってから再び電源コードを差し込み、動作の確認をしてください。
それでも電源表示ランプの赤色と緑色が交互に点滅するときは、42ページの「**保証とアフターサービス**」をごらんのうえ、修理依頼をしてください。

お手入れについて

やわらかい布で軽くふき取ってください。
汚れがひどいときは、水にひたした布をよくしぼってふき取り、乾いた布で仕上げてください。

ご注意

ベンジンやシンナー、アルコールなどの化学薬品は使わないでください。また、殺虫剤などの揮発性のあるものをかけないでください。表面の仕上げをいためたり、変色の原因となることがあります。

仕様について

AN-45T1

仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがあります。ご了承ください。

● 本体部（アンプ／フロントスピーカー／サブウーハー内蔵）

アンプ部	
実用最大出力	総合 140W フロントスピーカー：35W + 35W (JEITA ※) サブウーハー：70W (JEITA ※)
アンプ構成	フロントスピーカー用：1ビットΔΣ(デルタシグマ) 変調方式 サブウーハー用：パルス幅変調方式
1ビットサンプリング周波数	5.6MHz
音声入力端子	デジタル外部入力：角形光入力× 2、同軸入力× 1 アナログ外部入力：2V rms=0dB(47K Ω) ピンジャック (L/R)× 3
音声出力端子	スピーカー出力： フロントスピーカー用：4 Ω（2 チャンネル） サブウーハー用：3 Ω（1 チャンネル） サブウーハー出力：ピンジャック（モノラル）× 1
電源端子	AC ソケット（AC 100V）× 1
電源	100V AC、50/60Hz
消費電力	65W（待機消費電力 0.34W）
フロントスピーカー部	
スピーカー形式	２ウェイ [防磁設計]
スピーカー	ウーハー：6.5cm × 2（4 Ω） ツイーター：5cm × 2 （4 Ω）
サブウーハー部	
形式	バスレフ型
スピーカー	ウーハー：16cm × 1（3 Ω）
共通部	
最大外形寸法	1,100(幅)× 498(高さ)× 450(奥行)mm (JEITA ※)
棚面積（内寸）	469(幅)× 347(奥行)mm
棚高さ（内寸）	上段108mm／下段118mm（棚板の位置変更により±32mm 可変）
質量	約 43.6kg
耐加重	約 80.0kg

● リモコン部

電源	DC 3V（付属単４乾電池× 2 個）

※ 実用最大出力、最大外形寸法は、JEITA（電子情報技術産業協会）規格による測定値です。

保証とアフターサービス

保証書（別添）

- 保証書は「お買いあげ日・販売店名」等の記入をお確かめのうえ、販売店から受け取ってください。
  保証書は内容をよくお読みの後、大切に保存してください。
- **保証期間**
  お買いあげの日から１年間です。
  保証期間中でも有料になることがありますので、保証書をよくお読みください。

補修用性能部品の保有期間

- 当社は、この1ビットシアターラックシステムの補修用性能部品を、製品の製造打切後８年保有しています。
- 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

ご不明な点や修理に関するご相談は

- 修理に関するご相談ならびにご不明な点は、お買いあげの販売店、またはもよりのシャープお客様ご相談窓口 (43ページ) にお問い合わせください。

愛情点検

長年ご使用の機器の点検を！

このような症状はありませんか？

- 電源コードやプラグが異常に熱い
- コゲくさい臭いがする
- 電源コードに深いキズや変形がある
- その他の異常や故障がある

ご使用中止

故障や事故防止のため、電源スイッチを切り、電源コードをコンセントから抜いて、必ず販売店に点検をご依頼ください。なお、点検・修理に要する費用は、販売店にご相談ください。

修理を依頼されるときは　出張修理

- 「故障かな？」と思ったら (39～40ページ) を調べてください。
  それでも異常があるときは、使用をやめて、必ず電源プラグを抜いてから、お買いあげの販売店にご連絡ください。

■ ご連絡していただきたい内容

品　　名	：1ビットシアターラックシステム
形　　名	：AN-45T1
お買いあげ日	（ 年 月 日）
故障の状況	（できるだけ具体的に）
ご　住　所	（付近の目印も合わせてお知らせください。）
お　名　前	
電話番号	
ご訪問希望日	

■ 便利メモ

お客様へ…
お買いあげ日・販売店名を記入されると便利です。

お買いあげ日	販売店名
年　月　日	電　話（　　　　）　　－

■ 保証期間中

修理に際しましては保証書をご提示ください。
保証書の規定に従って販売店が修理させていただきます。

■ 保証期間が過ぎているときは

修理すれば使用できるときには、ご希望により有料で修理させていただきます。

■ 修理料金のしくみ

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料	故障した製品を正常に修復するための料金です。
部品代	修理に使用した部品代金です。
出張料	製品のある場所へ技術者を派遣する場合の料金です。

お客様ご相談窓口のご案内

修理・お取扱い・お手入れについてのご相談ならびにご依頼は、お買いあげの販売店へご連絡ください。

転居や贈答品などで、保証書記載の販売店にご相談できない場合は、下記窓口にご相談ください。

- 製品の故障や部品のご購入に関するご相談は・・・**修理相談センター**へ
- 製品のお取扱い方法、その他ご不明な点は・・・・・**お客様相談センター**へ

お客様相談センター

■ 受付時間： ＊月曜～土曜：午前9時～午後6時
＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

0120-078-178

○ フリーダイヤルがご利用いただけない場合は…

	TEL	FAX
東日本相談室	TEL 043-351-1821	FAX 043-299-8280
	〒261-8520　千葉県千葉市美浜区中瀬1-9-2	
西日本相談室	TEL 06-6792-1582	FAX 06-6792-5993
	〒581-8585　大阪府八尾市北亀井町3-1-72	

- FAX送信される場合は、お客様へのスムーズな対応のため、形名やお問い合わせ内容のご記入をお願いいたします。
- 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

修理相談センター

● 修理相談センター（沖縄・奄美地区を除く）

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後6時　＊日曜・祝日：午前10時～午後5時（年末年始を除く）

0570-02-4649

当ダイヤルは、全国どこからでも一律料金でご利用いただけます。
（注）PHS・IP電話からは、下記電話におかけください。

		<東日本地区>	<西日本地区>
○ PHS／IP電話でのご利用は・・・・・・・	（一般電話）	043-299-3863	06-6792-5511
○ ＦＡＸを送信される場合は・・・・・・・	（Ｆ Ａ Ｘ）	043-299-3865	06-6792-3221

○ 沖縄・奄美地区については、下表の「那覇サービスセンター」にご連絡ください。

◎ **持込修理および部品購入のご相談**は、上記「修理相談センター」のほか、下記地区別窓口にても承っております。

■ 受付時間：＊月曜～土曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）
〔但し、沖縄・奄美地区〕は・・・・＊月曜～金曜：午前9時～午後5時30分（祝日など弊社休日を除く）

担当地域	拠点名	電話番号	郵便番号	所在地
北海道地区	札幌 サービスセンター	011-641-4685	〒063-0801	札幌市西区二十四軒1条7-3-17
東北地区	仙台 サービスセンター	022-288-9142	〒984-0002	仙台市若林区卸町東3-1-27
関東地区	さいたまサービスセンター	048-666-7987	〒331-0812	さいたま市北区宮原町2-107-2
	宇都宮 サービスセンター	028-637-1179	〒320-0833	宇都宮市不動前4-2-41
	東京テクニカルセンター	03-5692-7765	〒114-0013	東京都北区東田端2-13-17
	多摩 サービスセンター	042-586-6059	〒191-0003	日野市日野台5-5-4
	千葉 サービスセンター	047-368-4766	〒270-2231	松戸市稔台295-1
	横浜テクニカルセンター	045-753-4647	〒235-0036	横浜市磯子区中原1-2-23
東海地区	静岡 サービスセンター	0543-44-5781	〒424-0067	静岡市清水鳥坂1170-1
	名古屋 サービスセンター	052-332-2623	〒454-8721	名古屋市中川区山王3-5-5
北陸地区	金沢 サービスセンター	076-249-2434	〒921-8801	石川郡野々市町御経塚4-103
近畿地区	京都 サービスセンター	075-672-2378	〒601-8102	京都市南区上鳥羽菅田町48
	大阪テクニカルセンター	06-6794-5611	〒547-8510	大阪市平野区加美南3-7-19
	阪神 サービスセンター	06-6422-0455	〒661-0981	兵庫県尼崎市猪名寺3-2-10
中国地区	広島 サービスセンター	082-874-8149	〒731-0113	広島市安佐南区西原2-13-4
四国地区	高松 サービスセンター	087-823-4901	〒760-0065	高松市朝日町6-2-8
九州地区	福岡 サービスセンター	092-572-4652	〒816-0081	福岡市博多区井相田2-12-1
沖縄・奄美地区	那覇 サービスセンター	098-861-0866	〒900-0002	那覇市曙2-10-1

- 所在地・電話番号などについては変更になることがありますので、その節はご容赦願います。

さくいん

● 製品についてのお問い合わせは‥

お客様相談センター	フリーダイヤルがご利用いただけない場合は		
0120-078-178	東日本相談室	TEL 043-351-1821	FAX 043-299-8280
	西日本相談室	TEL 06-6792-1582	FAX 06-6792-5993

《受付時間》 月曜～土曜：午前９時～午後６時　　日曜・祝日：午前10時～午後５時（年末年始を除く）

● 修理のご相談は‥　43 ページ記載の『**お客様ご相談窓口のご案内**』をご参照ください。

● シャープホームページ　**http://www.sharp.co.jp/**

シャープ株式会社

本　　社　〒545-8522
大阪市阿倍野区長池町22番22号

AVシステム事業本部　〒329-2193
栃木県矢板市早川町174番地

Printed in Malaysia
TINSJA071AWZZ
06A R TT ①